「がん対策に関する世論調査」の概要

令和５年１０月
内閣府政府広報室

調査対象　全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数1,626人（有効回収率54.2%）

調査期間　令和５年７月６日 ～８月１３日

調査方法　郵送法

調査目的　がん対策に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

調査項目
１　がんに対する印象について
２　がんの予防・早期発見について
３　がんの治療法及び病院に関する情報源について
４　がん医療について
５　がん患者と社会とのつながりについて
６　がん対策に関する政府への要望について

調査実績　「がん対策・たばこ対策に関する世論調査」（令和元年７月）
「がん対策に関する世論調査」
（平成19年９月、平成21年９月、平成25年１月、平成26年11月、平成28年11月）

関係府省庁　厚生労働省

その他
１　令和元年７月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和５年７月調査との単純比較は行わない。
　また、平成２７年度までは、調査対象者の年齢が２０歳以上であったが、平成２８年度以降は１８歳以上の方を調査対象に実施している。
２　図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が１００にならないこともある。

１　がんに対する印象について

（１）がんに対する印象

問１．あなたは、がんについてどのような印象を持っていますか。（○は１つ）

	令和５年７月
怖い印象を持っている（小計）	90.2%
・怖い印象を持っている	49.3%
・どちらかといえば怖い印象を持っている	41.0%
怖い印象を持っていない（小計）	7.2%
・どちらかといえば怖い印象を持っていない	5.2%
・怖い印象を持っていない	2.0%

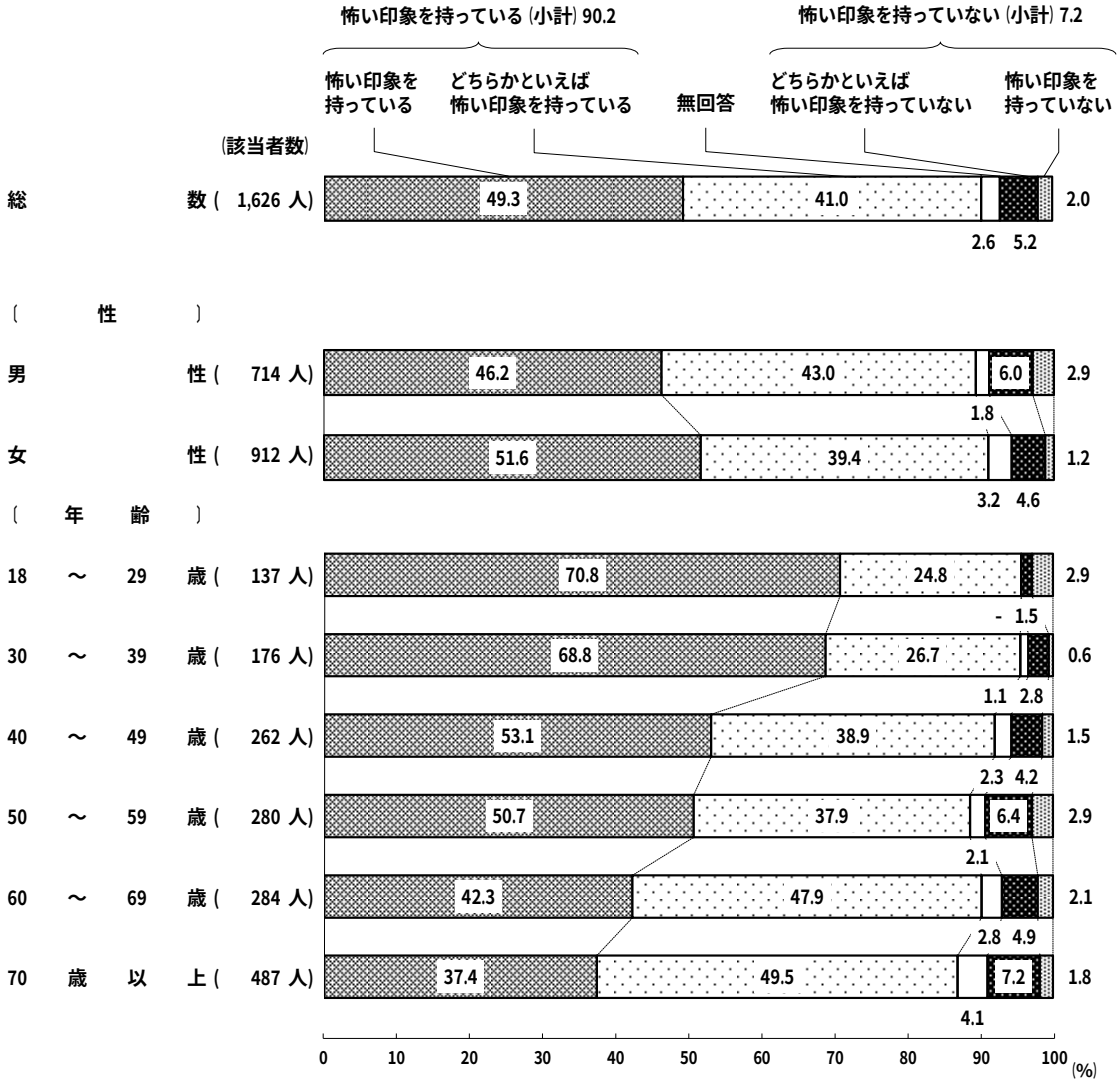

表１　がんに対する印象

	該当者数	怖い印象を持っている（小計）	怖い印象を持っている	どちらかといえば怖い印象を持っている	怖い印象を持っていない（小計）	どちらかといえば怖い印象を持っていない	怖い印象を持っていない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	90.2	49.3	41.0	7.2	5.2	2.0	2.6
〔都市規模〕								
大都市	446	89.7	49.8	39.9	8.5	6.5	2.0	1.8
東京都区部	107	88.8	50.5	38.3	10.3	10.3	-	0.9
政令指定都市	339	90.0	49.6	40.4	8.0	5.3	2.7	2.1
中都市	679	89.8	49.3	40.5	6.5	4.9	1.6	3.7
小都市	360	91.1	47.5	43.6	7.2	5.0	2.2	1.7
町村	141	91.5	51.8	39.7	6.4	3.5	2.8	2.1
〔性〕								
男性	714	89.2	46.2	43.0	9.0	6.0	2.9	1.8
女性	912	91.0	51.6	39.4	5.8	4.6	1.2	3.2
〔年齢〕								
18～29歳	137	95.6	70.8	24.8	4.4	1.5	2.9	-
30～39歳	176	95.5	68.8	26.7	3.4	2.8	0.6	1.1
40～49歳	262	92.0	53.1	38.9	5.7	4.2	1.5	2.3
50～59歳	280	88.6	50.7	37.9	9.3	6.4	2.9	2.1
60～69歳	284	90.1	42.3	47.9	7.0	4.9	2.1	2.8
70歳以上	487	86.9	37.4	49.5	9.0	7.2	1.8	4.1

表１－参考１　がんに対する印象

	該当者数	こわいと思わない（小計）	こわいと思わない	どちらかといえばこわいと思わない	こわいと思う（小計）	どちらかといえばこわいと思う	こわいと思う	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成21年9月調査	1,935	23.8	14.1	9.7	75.7	30.4	45.3	0.5
平成25年1月調査	1,883	22.4	12.1	10.2	76.7	33.4	43.3	1.0
平成26年11月調査	1,799	24.6	13.6	11.1	74.4	33.2	41.2	0.9
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	27.1	16.0	11.1	72.0	29.9	42.1	0.9
平成28年11月調査	1,815	26.8	15.8	11.1	72.3	29.9	42.4	0.9
令和元年7月調査	1,647	26.8	15.4	11.5	71.8	34.2	37.6	1.3

（注）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

表１－参考２　がんについての印象

	該当者数	こわくない（小計）	こわいと思わない	あまりこわいと思わない	どちらともいえない	こわい（小計）	ややこわいと思う	こわいと思う	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	24.0	14.3	9.7	10.5	65.1	18.4	46.7	0.5

ア　がんを怖いと思う理由

（問１で「怖い印象を持っている」、「どちらかといえば怖い印象を持っている」と答えた者に）
問２．がんを怖いと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

（上位４項目）

	令和５年７月
・がんで死に至る場合があるから	81.6%
・がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから	62.6%
・がんの治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから	58.6%
・がんの治療費が高額になる場合があるから	57.7%

（がんに対する印象について、「怖い印象を持っている」、「どちらかといえば怖い印象を持っている」と答えた者に、複数回答）

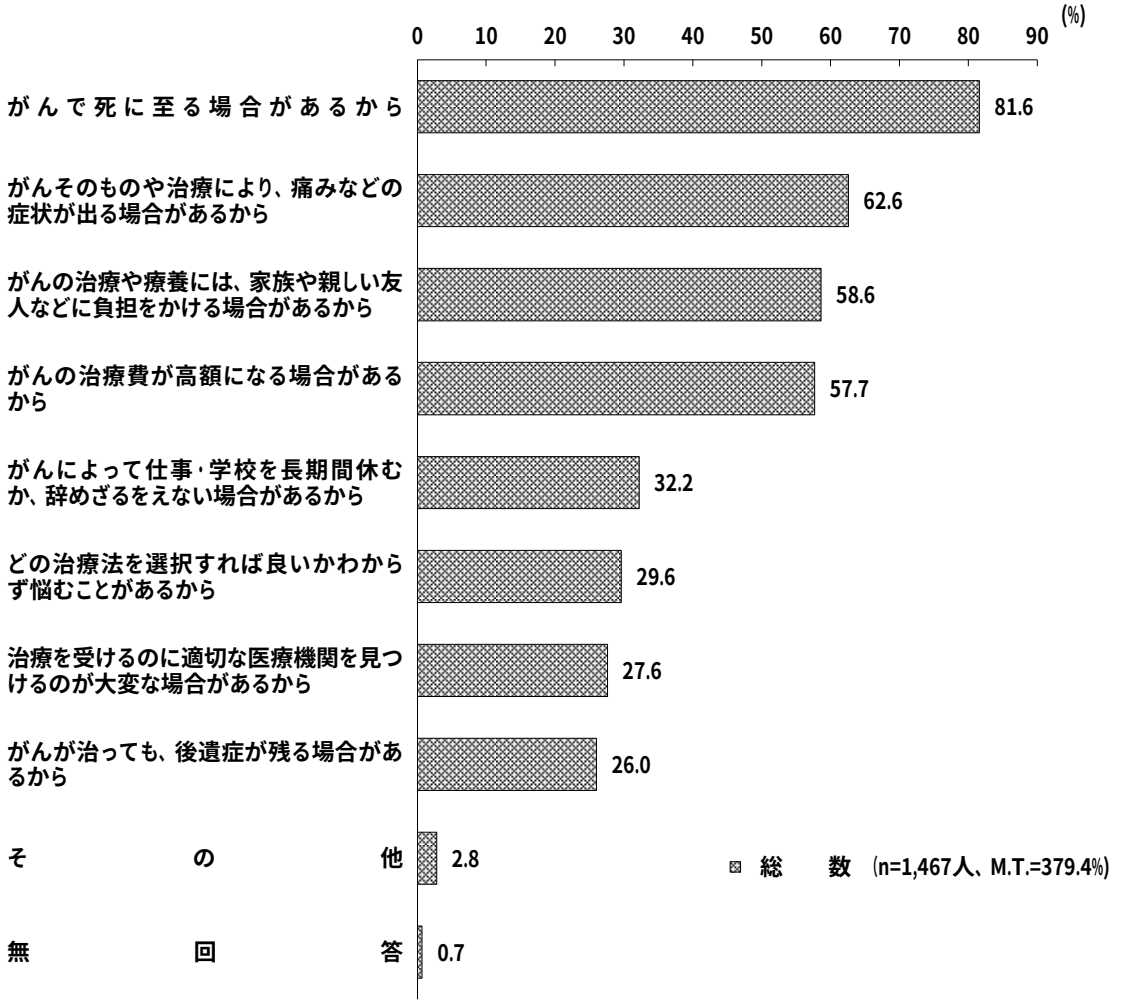

表２　がんを怖いと思う理由

（がんに対する印象について、「怖い印象を持っている」、「どちらかといえば怖い印象を持っている」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	がんで死に至る場合があるから	がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから	がんの治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから	がんの治療費が高額になる場合があるから	がんによって仕事・学校を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから	どの治療法を選択すれば良いかわからず悩むことがあるから	治療を受けるのに適切な医療機関を見つけるのが大変な場合があるから	がんが治っても、後遺症が残る場合があるから	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,467	81.6	62.6	58.6	57.7	32.2	29.6	27.6	26.0	2.8	0.7	379.4
〔都市規模〕												
大都市	400	82.3	61.3	59.5	54.8	35.3	32.0	30.0	28.0	2.3	0.5	385.8
東京都区部	95	83.2	60.0	58.9	63.2	41.1	31.6	29.5	22.1	2.1	-	391.6
政令指定都市	305	82.0	61.6	59.7	52.1	33.4	32.1	30.2	29.8	2.3	0.7	383.9
中都市	610	80.7	64.3	59.3	58.5	30.0	29.7	26.9	25.6	3.1	1.1	379.2
小都市	328	81.4	60.1	54.0	58.2	30.5	27.7	27.1	21.6	3.0	0.3	364.0
町村	129	84.5	65.9	63.6	61.2	37.2	26.4	24.8	33.3	2.3	0.8	400.0
〔性〕												
男性	637	83.8	54.2	54.9	56.5	35.0	24.2	23.9	22.9	1.9	0.6	357.9
女性	830	79.9	69.2	61.3	58.6	30.0	33.7	30.5	28.4	3.5	0.8	395.9
〔年齢〕												
18～29歳	131	90.1	58.0	48.9	46.6	33.6	26.0	19.1	24.4	0.8	2.3	349.6
30～39歳	168	88.7	67.3	61.9	57.1	37.5	25.6	24.4	23.8	3.6	0.6	390.5
40～49歳	241	86.7	63.5	64.7	60.6	47.7	29.5	25.7	25.7	3.3	0.8	408.3
50～59歳	248	81.9	66.5	64.1	59.7	49.6	31.5	31.5	23.0	2.8	0.4	410.9
60～69歳	256	78.1	62.9	59.8	64.8	24.6	32.8	29.3	26.6	3.5	0.4	382.8
70歳以上	423	75.2	59.3	52.7	54.1	15.1	29.3	29.3	29.1	2.4	0.7	347.3

表２－参考　がんをこわいと思う理由

（がんに対する印象について、「どちらかといえばこわいと思う」、「こわいと思う」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	がんで死に至る場合があるから	がんの治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから（注1）	がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから	がんの治療費が高額になる場合があるから	がんによって仕事を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから	がんが治っても、後遺症が残る場合があるから	治療を受けるのに適切な医療機関を見つけるのが大変な場合があるから	その他	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,444	75.1	36.4	50.5	46.5	26.5	30.6	23.1	0.9	0.3	289.8
平成26年11月調査	1,339	72.9	35.5	53.9	45.9	25.8	28.5	23.7	1.3	0.4	288.1
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,289	71.8	55.4	50.3	46.8	27.7	28.2	24.4	0.8	0.4	305.7
平成28年11月調査	1,312	72.1	55.2	50.0	46.3	27.4	28.4	24.2	0.8	0.4	304.6
令和元年7月調査	1,183	73.1	52.4	46.7	43.7	27.1	26.7	23.8	0.7	0.6	294.8

（注１）平成26年11月調査までは、「がんに対する治療や療養には、家族や親しい友人などの協力が必要な場合があるから」となっている。

（注２）令和元年７月調査までは、「あなたが、がんをこわいと思う理由を、この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注３）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

2　がんの予防・早期発見について

（１）がん検診の受診状況

問３．がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診が行われています。あなたは、ここ 1～2 年くらいの間に、がん検診を受けたことがありますか。（○は１つ）

	令和５年７月
２年以内に受診した（小計）	42.7%
・１年以内に受診した	32.8%
・２年以内に受診した	9.9%
２年以内に受診していない（小計）	55.7%
・２年より前に受診した	20.8%
・今までがん検診を受けたことはない	34.9%

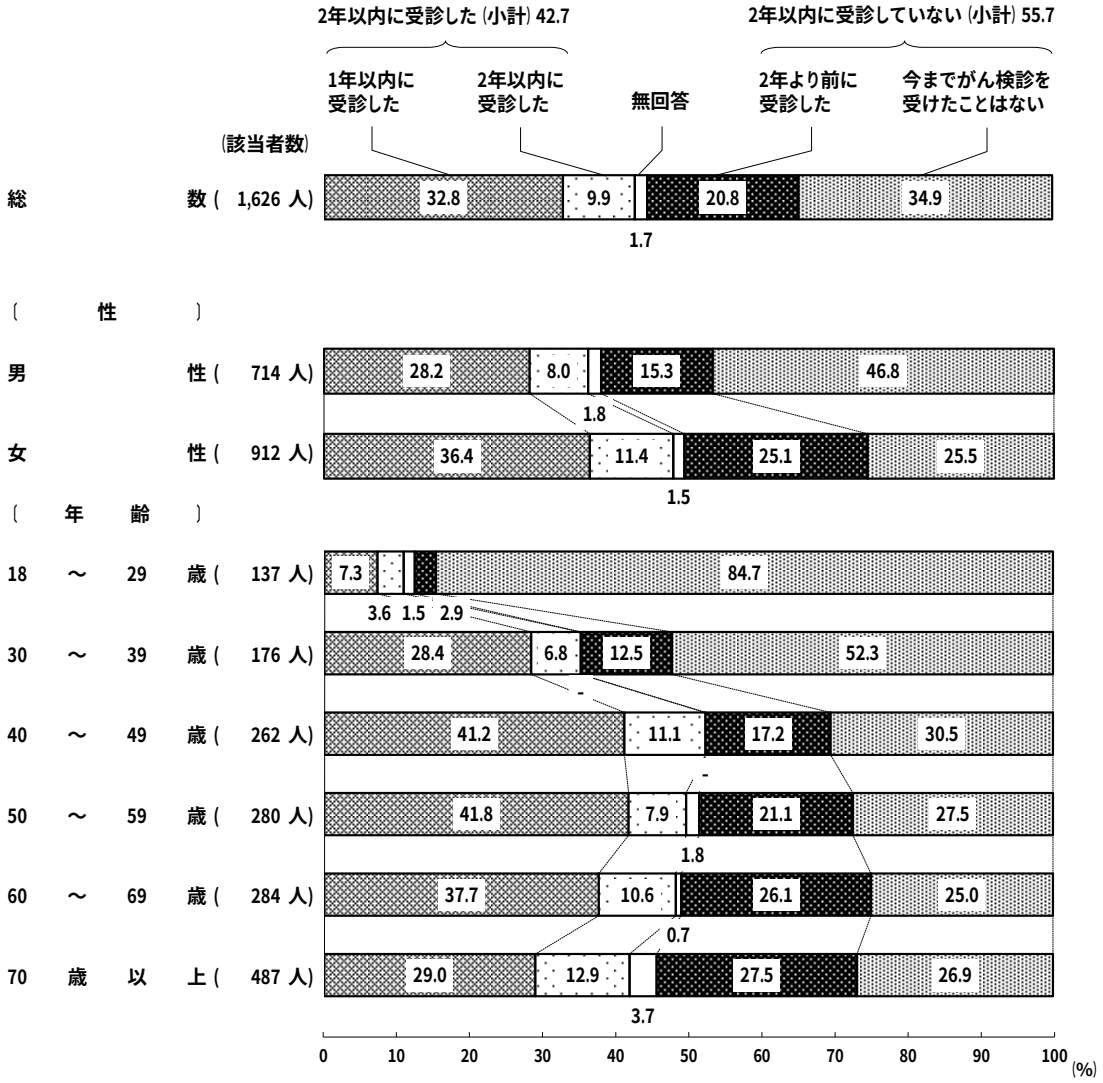

表３　がん検診の受診状況

	該当者数	2年以内に受診した（小計）	1年以内に受診した	2年以内に受診した	2年以内に受診していない（小計）	2年より前に受診した	今までがん検診を受けたことはない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	42.7	32.8	9.9	55.7	20.8	34.9	1.7
〔都市規模〕								
大都市	446	42.2	31.4	10.8	55.2	20.0	35.2	2.7
東京都区部	107	43.9	30.8	13.1	53.3	20.6	32.7	2.8
政令指定都市	339	41.6	31.6	10.0	55.8	19.8	36.0	2.7
中都市	679	43.9	33.1	10.8	55.4	21.1	34.3	0.7
小都市	360	39.7	32.2	7.5	58.1	21.7	36.4	2.2
町村	141	46.1	36.9	9.2	52.5	19.9	32.6	1.4
〔性〕								
男性	714	36.1	28.2	8.0	62.0	15.3	46.8	1.8
女性	912	47.8	36.4	11.4	50.7	25.1	25.5	1.5
〔年齢〕								
18～29歳	137	10.9	7.3	3.6	87.6	2.9	84.7	1.5
30～39歳	176	35.2	28.4	6.8	64.8	12.5	52.3	-
40～49歳	262	52.3	41.2	11.1	47.7	17.2	30.5	-
50～59歳	280	49.6	41.8	7.9	48.6	21.1	27.5	1.8
60～69歳	284	48.2	37.7	10.6	51.1	26.1	25.0	0.7
70歳以上	487	41.9	29.0	12.9	54.4	27.5	26.9	3.7

表３－参考１　がん検診の受診状況

	該当者数	2年以内に受診した（小計）	1年以内に受診した	2年以内に受診した	2年より前に受診した（注１）	今までがん検診を受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成28年11月調査	1,815	52.6	44.2	8.4	13.8	33.4	0.3
令和元年７月調査	1,647	57.0	47.5	9.5	13.6	29.2	0.2

（注１）平成28年11月調査では、「２年以上前に受診した」となっている。
（注２）「胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ撮影などによるがん検診が行われています。あなたは、こういったがん検診を受けたことがありますか。この中からあてはまるものを１つだけお答えください。」と聞いている。
（注３）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

表３－参考２　がん検診の受診状況（胃がん検診）

	該当者数	2年以内に受診（小計）	1年以内に受診	2年以内に受診	2年以上前に受診	今まで受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	37.5	29.5	7.9	15.9	46.2	0.4
平成21年9月調査	1,935	38.1	31.4	6.7	17.1	44.0	0.8

（注１）平成19年９月調査では、「あなたは、がん検診を受けたことがありますか。最近受けた時期を１つだけお答えください。まず、胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影、内視鏡検査など含む）についてはどうでしょうか。」と聞いている。
（注２）平成21年９月調査では、「あなたは、がん検診を受けたことがありますか。最近受けた時期を１つだけお答えください。まず、胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影など）についてはどうでしょうか。」と聞いている。

表３－参考３　がん検診の受診状況（肺がん検診）

	該当者数	2年以内に受診（小計）	1年以内に受診	2年以内に受診	2年以上前に受診	今まで受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	39.2	34.7	4.5	8.0	52.0	0.8
平成21年9月調査	1,935	42.4	36.3	6.1	10.0	46.5	1.1

（注１）平成19年９月調査では、「肺がん検診（胸の単純Ｘ線撮影、喀痰検査など含む）についてはどうでしょうか。」と聞いている。
（注２）平成21年９月調査では、「肺がん検診（胸のレントゲン撮影や喀痰検査など）についてはどうでしょうか。」と聞いている。

表３－参考４　がん検診の受診状況（大腸がん検診）

	該当者数	2年以内に受診（小計）	1年以内に受診	2年以内に受診	2年以上前に受診	今まで受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	32.4	27.1	5.3	12.0	54.7	0.9
平成21年9月調査	1,935	34.6	28.3	6.3	13.5	51.1	0.9

（注）「大腸がん検診（便潜血反応検診（検便）など）についてはどうでしょうか。」と聞いている。

表３－参考５　がん検診の受診状況（子宮がん検診（女性のみ））

	該当者数	2年以内に受診（小計）	1年以内に受診	2年以内に受診	2年以上前に受診	今まで受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	947	39.0	29.1	9.8	22.4	37.9	0.7
平成21年9月調査	1,066	37.2	27.4	9.8	25.6	35.6	1.5

（注１）平成19年９月調査では、女性のみを対象に、「子宮がん検診についてはどうでしょうか。」と聞いている。
（注２）平成21年９月調査では、女性のみを対象に、「子宮がん検診（子宮の細胞診検査など）についてはどうでしょうか。」と聞いている。

表３－参考６　がん検診の受診状況（乳がん検診（女性のみ））

	該当者数	2年以内に受診（小計）	1年以内に受診	2年以内に受診	2年以上前に受診	今まで受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	947	32.4	23.7	8.8	16.3	50.2	1.2
平成21年9月調査	1,066	32.3	23.3	9.0	18.6	47.7	1.5

（注１）平成19年９月調査では、女性のみを対象に、「乳がん検診についてはどうでしょうか。」と聞いている。
（注２）平成21年９月調査では、女性のみを対象に、「乳がん検診（視診・触診やマンモグラフィ撮影など）についてはどうでしょうか。」と聞いている。

表３－参考７　がん検診の受診状況（その他のがん検診）

	該当者数	2年以内に受診（小計）	1年以内に受診	2年以内に受診	2年以上前に受診	今まで受けたことはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	10.4	9.1	1.4	3.7	78.7	7.2
平成21年9月調査	1,935	10.2	9.0	1.2	3.6	77.4	8.8

（注）「その他のがん検診についてはどうでしょうか。」と聞いている。

ア　がん検診を受診した理由

（問３で「１年以内に受診した」、「２年以内に受診した」と答えた者に）
問４．がん検診をなぜ受診しようと思いましたか。（○はいくつでも）

（上位４項目）

	令和５年７月
・家族・友人などの身近な人でがんにかかった人がいるから	28.8%
・職場・学校での健康診断ですすめられたから	28.1%
・自治体の広報で知ったから	23.5%
・他疾患の通院中、医療者にすすめられたから	16.9%
・その他	18.4%

（がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「1年以内に受診した」、「2年以内に受診した」と答えた者に、複数回答）

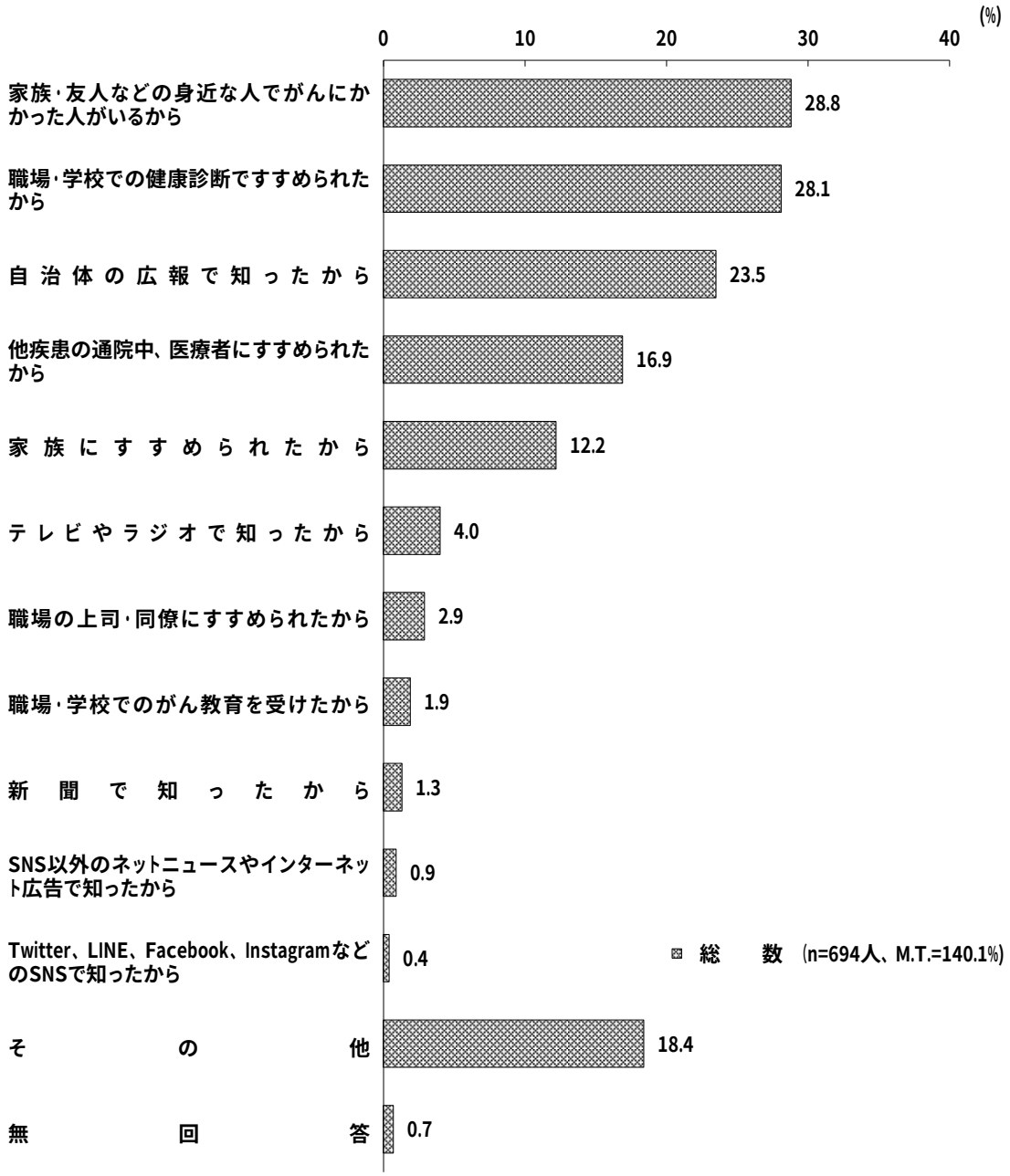

表４　がん検診を受診した理由

（がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「1年以内に受診した」、「2年以内に受診した」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	家族・友人などの身近な人でがんにかかった人がいるから	職場・学校での健康診断ですすめられたから	自治体の広報で知ったから	他疾患の通院中、医療者にすすめられたから	家族にすすめられたから	テレビやラジオで知ったから	職場の上司・同僚にすすめられたから	職場・学校でのがん教育を受けたから	新聞で知ったから	SNS以外のネットニュースやインターネット広告で知ったから	Twitter、LINE、Facebook、InstagramなどのSNSで知ったから	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	694	28.8	28.1	23.5	16.9	12.2	4.0	2.9	1.9	1.3	0.9	0.4	18.4	0.7	140.1
〔都市規模〕															
大都市	188	28.2	31.9	17.0	15.4	9.0	4.3	3.2	2.1	0.5	1.6	-	21.3	0.5	135.1
東京都区部	47	29.8	31.9	10.6	21.3	6.4	4.3	2.1	2.1	-	2.1	-	23.4	-	134.0
政令指定都市	141	27.7	31.9	19.1	13.5	9.9	4.3	3.5	2.1	0.7	1.4	-	20.6	0.7	135.5
中都市	298	28.2	26.2	20.8	17.8	10.7	2.7	2.3	1.7	1.7	0.7	0.3	19.5	1.0	133.6
小都市	143	31.5	25.9	32.2	18.2	17.5	5.6	3.5	1.4	1.4	0.7	0.7	16.1	-	154.5
町村	65	27.7	30.8	35.4	13.8	16.9	6.2	3.1	3.1	1.5	-	1.5	10.8	1.5	152.3
〔性〕															
男性	258	20.5	32.9	20.9	17.8	14.0	3.9	1.9	1.2	1.6	1.2	-	18.2	-	134.1
女性	436	33.7	25.2	25.0	16.3	11.2	4.1	3.4	2.3	1.1	0.7	0.7	18.6	1.1	143.6
〔年齢〕															
18～29歳	15	6.7	33.3	6.7	33.3	20.0	6.7	6.7	-	-	-	6.7	13.3	-	133.3
30～39歳	62	24.2	46.8	12.9	11.3	12.9	3.2	3.2	4.8	-	-	-	21.0	-	140.3
40～49歳	137	27.7	43.1	16.1	11.7	12.4	2.2	2.9	2.2	0.7	1.5	0.7	11.7	-	132.8
50～59歳	139	28.1	40.3	15.1	9.4	11.5	3.6	7.2	1.4	-	1.4	0.7	18.0	-	136.7
60～69歳	137	31.4	24.1	28.5	12.4	9.5	4.4	2.2	2.2	1.5	0.7	-	24.1	0.7	141.6
70歳以上	204	31.4	6.4	35.3	28.9	13.7	5.4	-	1.0	2.9	0.5	-	19.1	2.0	146.6

イ　がん検診を受診していない理由

（問３で「２年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に）
問５．ここ１～２年くらいの間に、または、これまでがん検診を受診していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

（上位３項目）

	令和５年７月
・心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	23.9%
・費用がかかり経済的にも負担になるから	23.2%
・受ける時間がないから	21.2%
・その他	10.9%
・がん検診の対象者ではないから	11.2%

（がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「2年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に、複数回答）

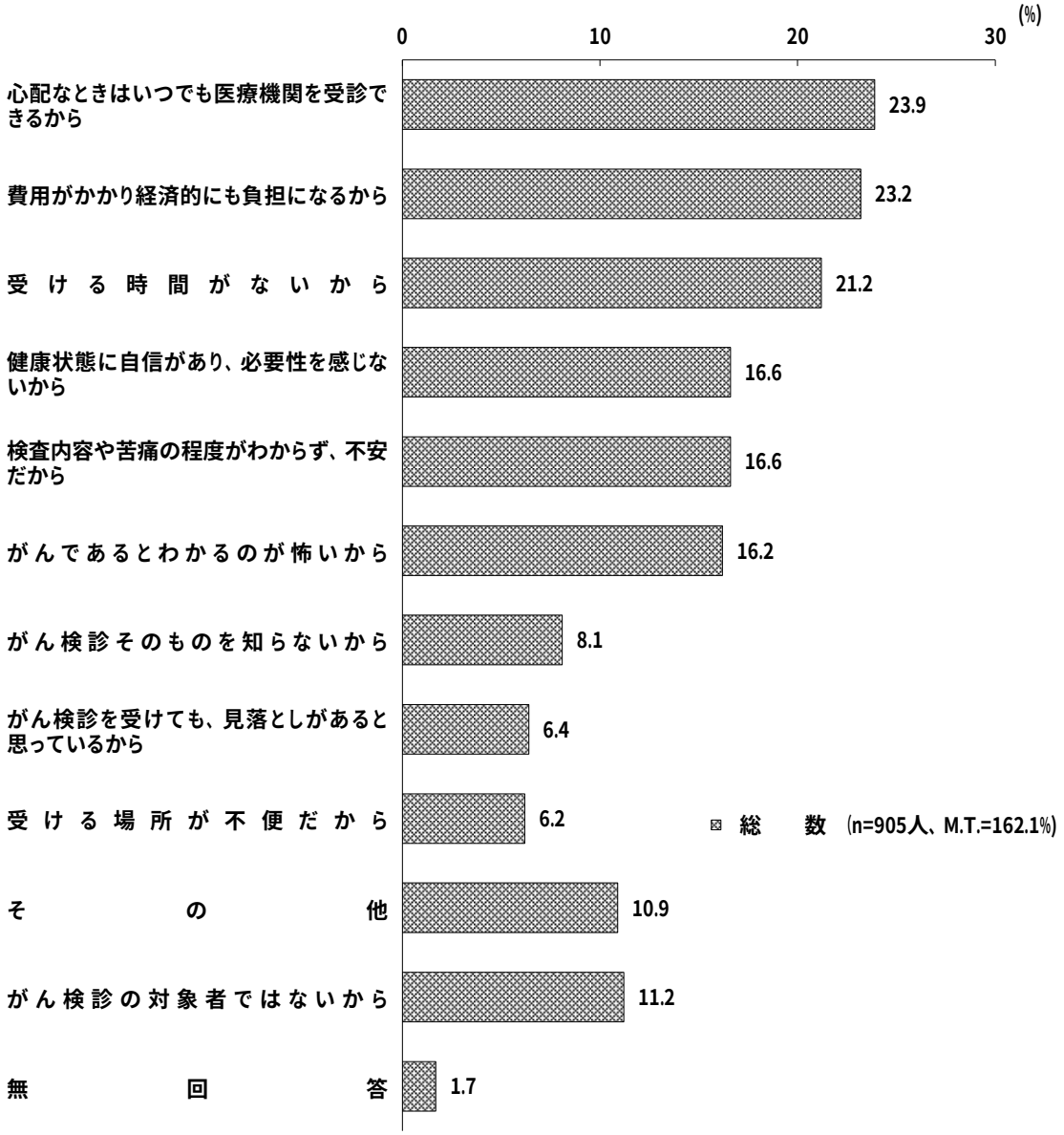

表５　がん検診を受診していない理由

（がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「2年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	費用がかかり経済的にも負担になるから	受ける時間がないから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	検査内容や苦痛の程度がわからず、不安だから	がんであるとわかるのが怖いから	がん検診そのものを知らないから	がん検診を受けても、見落としがあると思っているから	受ける場所が不便だから	その他	がん検診の対象者ではないから	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	905	23.9	23.2	21.2	16.6	16.6	16.2	8.1	6.4	6.2	10.9	11.2	1.7	162.1
〔都市規模〕														
大都市	246	20.7	21.1	27.2	19.5	13.0	15.0	9.8	5.3	5.7	14.2	11.8	0.4	163.8
東京都区部	57	24.6	19.3	26.3	14.0	14.0	10.5	7.0	3.5	3.5	12.3	12.3	1.8	149.1
政令指定都市	189	19.6	21.7	27.5	21.2	12.7	16.4	10.6	5.8	6.3	14.8	11.6	-	168.3
中都市	376	27.4	23.7	17.6	16.2	19.4	14.9	6.9	7.2	6.1	10.9	10.4	1.3	162.0
小都市	209	23.0	26.8	20.6	14.8	13.9	19.1	8.1	7.2	7.2	9.1	10.5	2.4	162.7
町村	74	18.9	17.6	21.6	13.5	21.6	18.9	8.1	4.1	5.4	5.4	14.9	5.4	155.4
〔性〕														
男性	443	20.3	26.9	22.8	17.8	13.5	15.3	11.3	5.0	4.3	7.7	15.1	1.1	161.2
女性	462	27.3	19.7	19.7	15.4	19.5	17.1	5.0	7.8	8.0	14.1	7.4	2.2	163.0
〔年齢〕														
18～29歳	120	10.0	12.5	15.8	13.3	11.7	2.5	15.8	-	3.3	5.0	43.3	-	133.3
30～39歳	114	3.5	33.3	25.4	9.6	20.2	10.5	16.7	1.8	7.0	7.0	23.7	-	158.8
40～49歳	125	10.4	29.6	44.0	12.8	16.8	22.4	8.0	7.2	9.6	14.4	5.6	0.8	181.6
50～59歳	136	14.0	30.9	35.3	15.4	16.9	15.4	7.4	6.6	5.1	18.4	5.9	-	171.3
60～69歳	145	28.3	19.3	20.0	15.2	19.3	20.7	3.4	13.8	8.3	9.0	2.1	-	159.3
70歳以上	265	47.9	18.9	4.5	24.2	15.5	20.0	3.8	6.8	4.9	10.9	1.5	5.3	164.2

表５－参考１　がん検診を受けない理由

（胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「２年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	受ける時間がないから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	費用がかかり経済的にも負担になるから	がんであると分かるのが怖いから	うっかり受診するのを忘れてしまっているから	がん検診そのものを知らないから	検査に伴う苦痛に不安があるから	受ける場所が不便だから	がん検診を受けても、見落としがあると思っているから	その他	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成28年11月調査	856	30.6	29.2	23.7	15.9	11.7	8.2	6.5	7.6	5.8	5.8	7.6	3.9	156.5
令和元年７月調査	705	28.9	25.0	23.4	11.8	9.2	8.9	7.2	6.8	6.4	4.4	8.8	1.8	142.7

（注１）「あなたが、これまであるいは最近、がん検診を受けていない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

表５－参考２　がん検診を受けない理由の認識

（複数回答）

	該当者数	受ける時間がないから	費用がかかり経済的にも負担になるから	がんであると分かるのが怖いから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	検査に伴う苦痛に不安があるから	うっかり受診するのを忘れてしまっているから	受ける場所が不便だから	がん検診そのものを知らないから	がん検診を受けても、見落としがあると思っているから	その他	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,883	47.4	35.4	36.2	34.5	22.0	19.6	20.2	18.6	12.6	10.1	2.2	3.2	262.1
平成26年11月調査	1,799	48.0	38.9	37.7	33.1	20.5	20.1	19.9	17.7	11.9	9.9	1.6	2.8	262.2

（注１）平成25年１月調査では、「日本のがん検診の受診率は、20～30%程度と低く留まっています。あなたは、多くの方ががん検診を受けないのはなぜだと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注２）平成26年11月調査では、「日本のがん検診の受診率は、40%程度と上昇傾向にありますが、欧米諸国と比較すると依然として低く留まっています。あなたは、多くの方ががん検診を受けないのはなぜだと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

表５－参考３　最近、未受診の理由

（胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診（女性のみ）、乳がん検診（女性のみ）、その他のがん検診のうち、１つでも「２年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答）

	該当者数	たまたま受けていない	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	面倒だから	時間がなかったから	毎年受ける必要性を感じないから	費用がかかり経済的にも負担になるから	まだそういう年齢ではない	検査に伴う苦痛などに不安があるから	検診を知らなかったから	結果が不安なため、受けたくないから	場所が遠いから	その他	特にない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年９月調査	1,584	28.8	16.9	17.3	15.4	15.9	10.3	7.6	11.6	4.6	4.5	5.2	1.3	5.5	7.7	152.5
平成21年９月調査	1,729	28.1	18.6	17.6	16.5	16.5	12.6	10.8	7.7	6.6	6.1	4.8	2.3	3.5	8.2	159.8

（注）「２年以内に受診したがん検診を除いて、最近がん検診を受けない理由は、主に何が理由ですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

３　がんの治療法及び病院に関する情報源について

（１）がんの治療法や病院に関する情報源

問６．あなたは、がんと診断された場合、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思いますか。（○はいくつでも）

（上位３項目）

	令和５年７月
・病院・診療所の医師・看護師やがん相談支援センター以外の相談窓口	56.2%
・がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター	43.8%
・家族・友人・知人	36.7%

（複数回答）

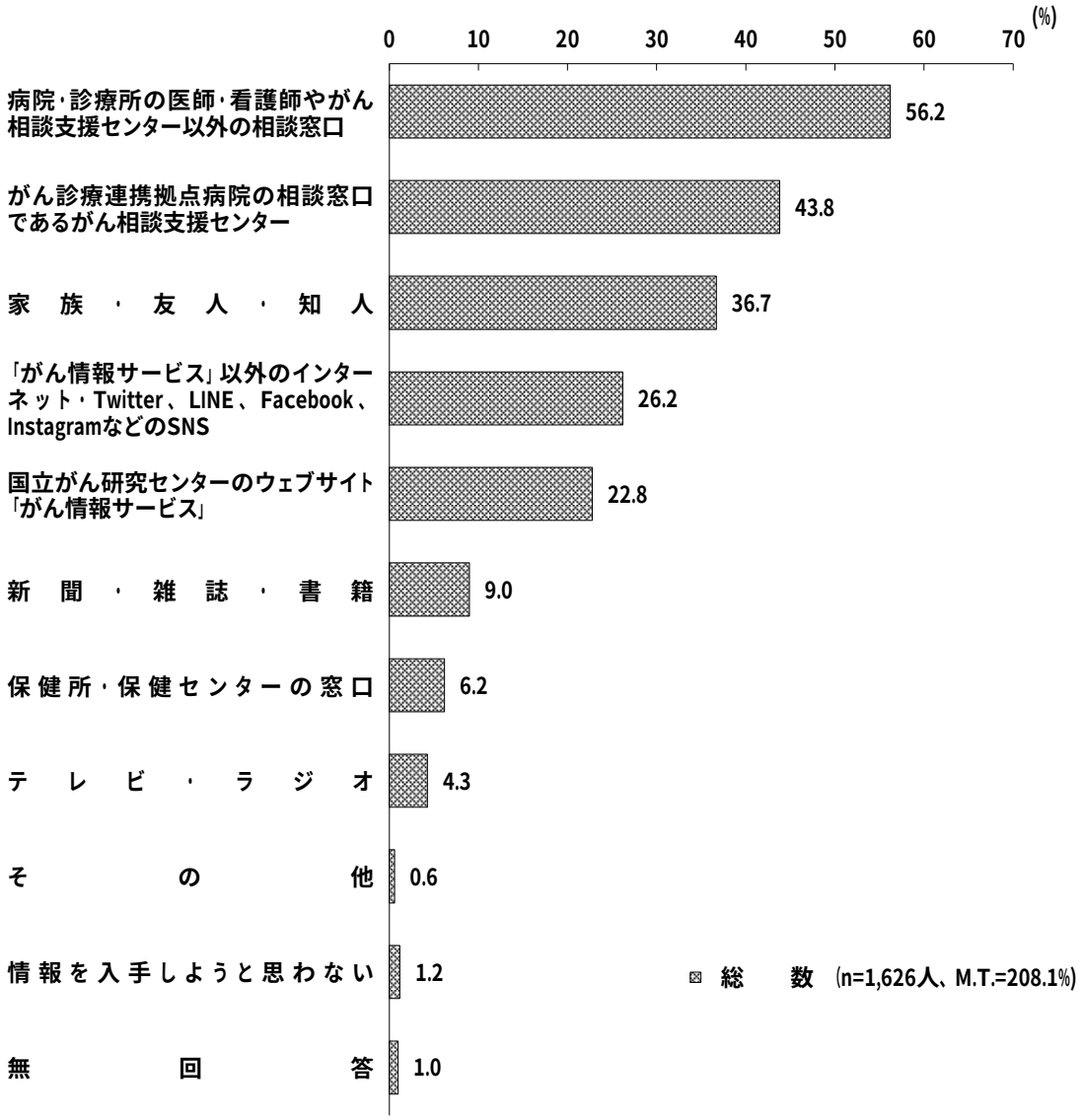

表６　がんの治療法や病院に関する情報源

（複数回答）

	該当者数	病院・診療所の医師・看護師やがん相談支援センター以外の相談窓口	がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター	家族・友人・知人	「がん情報サービス」以外のインターネット・Twitter、LINE、Facebook、InstagramなどのSNS	国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」	新聞・雑誌・書籍	保健所・保健センターの窓口	テレビ・ラジオ	その他	情報を入手しようと思わない	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	56.2	43.8	36.7	26.2	22.8	9.0	6.2	4.3	0.6	1.2	1.0	208.1
〔都市規模〕													
大都市	446	54.9	46.6	36.8	33.0	28.5	9.2	4.7	4.3	0.4	0.7	1.6	220.6
東京都区部	107	53.3	47.7	32.7	34.6	37.4	11.2	2.8	3.7	0.9	0.9	0.9	226.2
政令指定都市	339	55.5	46.3	38.1	32.4	25.7	8.6	5.3	4.4	0.3	0.6	1.8	218.9
中都市	679	59.4	43.2	34.5	22.1	20.2	8.8	5.9	3.8	0.7	1.0	0.3	199.9
小都市	360	52.5	40.3	40.6	27.5	21.9	10.6	8.1	5.3	0.8	2.2	1.7	211.4
町村	141	53.9	47.5	37.6	21.3	19.9	5.7	7.8	4.3	-	0.7	1.4	200.0
〔性〕													
男性	714	56.6	42.2	31.8	25.4	21.7	8.0	6.3	3.4	0.4	2.2	1.0	198.9
女性	912	55.8	45.2	40.6	26.9	23.7	9.9	6.1	5.0	0.8	0.3	1.1	215.4
〔年齢〕													
18～29歳	137	54.7	41.6	37.2	41.6	20.4	12.4	8.8	7.3	-	1.5	1.5	227.0
30～39歳	176	52.8	53.4	37.5	46.0	26.1	8.0	6.8	5.1	1.1	0.6	-	237.5
40～49歳	262	53.8	48.5	41.2	39.7	29.0	10.3	5.7	5.0	0.4	0.4	-	234.0
50～59歳	280	54.6	47.1	41.4	35.4	35.4	9.3	4.6	3.6	1.1	1.8	0.4	234.6
60～69歳	284	57.0	41.9	34.2	19.0	23.9	9.9	5.3	3.5	0.7	1.1	-	196.5
70歳以上	487	59.3	37.8	32.6	6.4	11.1	7.2	7.0	3.7	0.4	1.4	2.9	169.8

表６－参考　がんの治療法や病院に関する情報源

（複数回答）

	該当者数	病院・診療所の医師・看護師や（＃1）以外の相談窓口	インターネット・ツイッターやフェイスブックなどのSNS（（＃2）以外）（注1）	家族・友人・知人	がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院の相談窓口）（注2）＃1	国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」＃2	新聞・雑誌・書籍（（＃3）以外）	テレビ・ラジオ	保健所・保健センターの窓口	図書＃3館	その他	情報を入手しようと思わない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年１月調査	1,883	60.9	35.6	34.5	43.6	19.9	13.0	10.9	9.3	3.9	0.4	0.8	0.5	233.2
平成26年11月調査	1,799	60.3	35.6	32.5	45.2	19.3	11.7	7.9	9.2	3.3	0.4	0.6	0.4	226.5
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	69.0	35.3	33.3	26.8	16.2	8.7	5.9	6.3	2.7	0.9	1.6	0.8	207.5
平成28年11月調査	1,815	68.6	35.5	33.4	26.6	16.1	8.6	6.0	6.3	2.7	0.9	1.6	0.8	207.3
令和元年７月調査	1,647	66.4	36.9	33.8	27.3	16.6	8.7	7.2	7.2	2.8	0.5	1.0	0.7	209.0

（注１）平成28年11月調査までは、「インターネット（（＃２）以外）」となっている。

（注２）平成25年１月調査では、「がん診療連携拠点病院（がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国が指定を行っている病院）の相談支援センター」となっている。
平成26年11月調査では、「がん診療連携拠点病院（がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国が指定を行っている病院）のがん相談支援センター」となっている。

（注３）平成28年11月調査までは、「あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注４）令和元年７月調査では、「あなたは、がんと診断されたら、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注５）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

ア　「がん相談支援センター」で得たい情報

（問６で「がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター」と答えた者に）
問７．「がん相談支援センター」でどのようなことが聞きたいと思いますか。（○はいくつでも）

（上位５項目）

	令和５年７月
・がんの治療内容に関する一般的な情報について	82.7%
・治療費・保険などの経済面について	79.5%
・退院後の生活など療養上の注意点について	38.8%
・他の専門的な医療機関の情報について	36.2%
・治療と仕事・学業の両立について	31.3%

（がんと診断された場合、がんの治療法や病院に関する情報源として「がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター」を挙げた者に、複数回答）

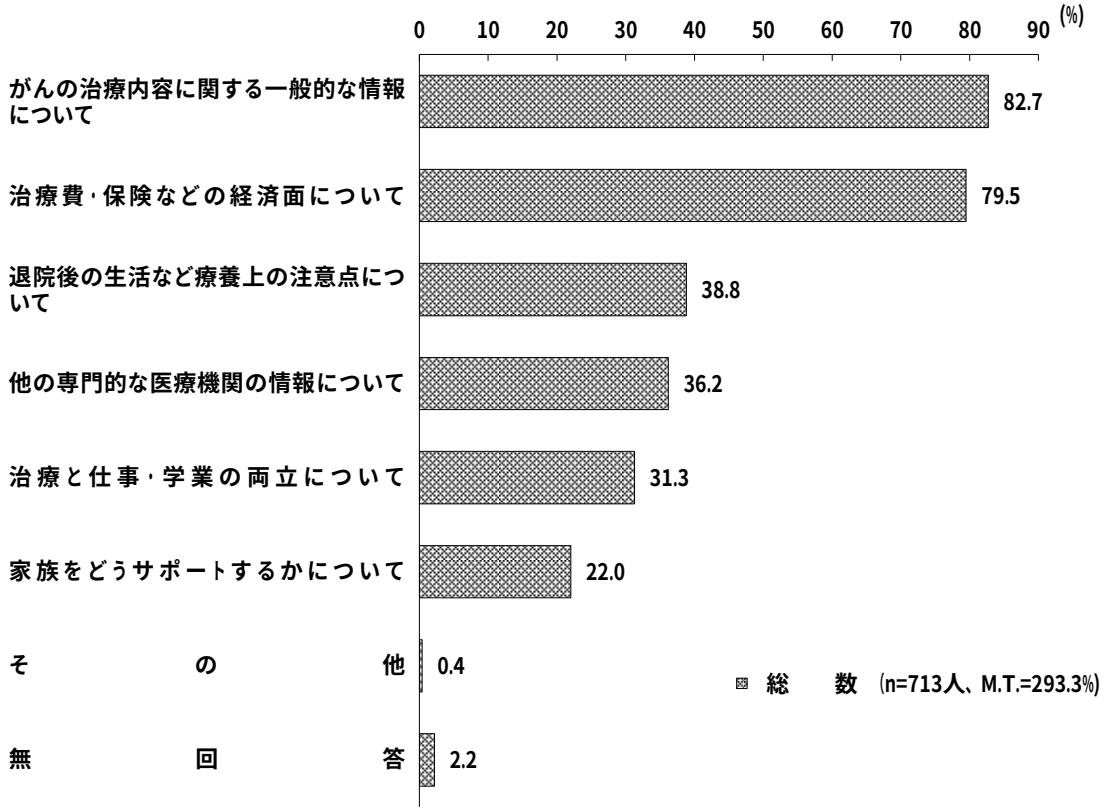

表７　「がん相談支援センター」で得たい情報

（がんと診断された場合、がんの治療法や病院に関する情報源として「がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター」を挙げた者に、複数回答）

	該当者数	がんの治療内容に関する一般的な情報について	治療費・保険などの経済面について	退院後の生活など療養上の注意点について	他の専門的な医療機関の情報について	治療と仕事・学業の両立について	家族をどうサポートするかについて	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	713	82.7	79.5	38.8	36.2	31.3	22.0	0.4	2.2	293.3
〔都市規模〕										
大都市	208	82.2	79.3	40.9	36.1	40.9	23.1	0.5	1.9	304.8
東京都区部	51	80.4	82.4	41.2	39.2	41.2	19.6	-	2.0	305.9
政令指定都市	157	82.8	78.3	40.8	35.0	40.8	24.2	0.6	1.9	304.5
中都市	293	81.9	78.2	39.6	38.9	25.9	20.8	0.3	2.0	287.7
小都市	145	85.5	81.4	35.2	35.2	27.6	20.0	0.7	2.8	288.3
町村	67	82.1	82.1	37.3	26.9	32.8	28.4	-	3.0	292.5
〔性〕										
男性	301	84.7	80.4	37.2	31.6	34.6	21.6	0.3	1.3	291.7
女性	412	81.3	78.9	40.0	39.6	28.9	22.3	0.5	2.9	294.4
〔年齢〕										
18～29歳	57	86.0	91.2	38.6	33.3	47.4	22.8	-	-	319.3
30～39歳	94	80.9	80.9	30.9	34.0	47.9	33.0	1.1	3.2	311.7
40～49歳	127	85.0	84.3	40.2	40.2	47.2	25.2	-	1.6	323.6
50～59歳	132	83.3	78.8	44.7	46.2	43.9	20.5	0.8	1.5	319.7
60～69歳	119	78.2	83.2	34.5	36.1	17.6	21.0	-	1.7	272.3
70歳以上	184	83.7	70.1	40.8	28.3	6.5	15.8	0.5	3.8	249.5

表７－参考　がん相談支援センターで得たい情報

（がんと診断された場合、自身のがんの治療法や病院についての情報源として「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院の相談窓口）」を挙げた者に、複数回答）

	該当者数	治療費・保険など経済面について	がんの治療内容に関する一般的な情報	他の専門的な医療機関の情報	退院後の生活など療養上の注意点	家族をどうサポートするか	治療と仕事の両立について	その他	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成28年11月調査	483	75.4	74.3	40.2	39.5	35.4	34.6	0.2	0.8	300.4

（注１）「あなたは「がん相談支援センター」で、どのようなことを聞きたいですか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注２）平成28年11月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

4　がん医療について

（１）がんの新しい治療法に関する情報

問８．インターネットなどで入手できるがんの治療法に関する情報の中には、手術や抗がん剤だけではなくさまざまな新しい治療法に関する情報があります。あなたは、これらの情報の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思いますか。（○は１つ）

	令和５年７月
あると思う（小計）	90.1%
・あると思う	55.1%
・ある程度あると思う	35.0%
ないと思う（小計）	6.8%
・あまりないと思う	5.5%
・ないと思う	1.4%

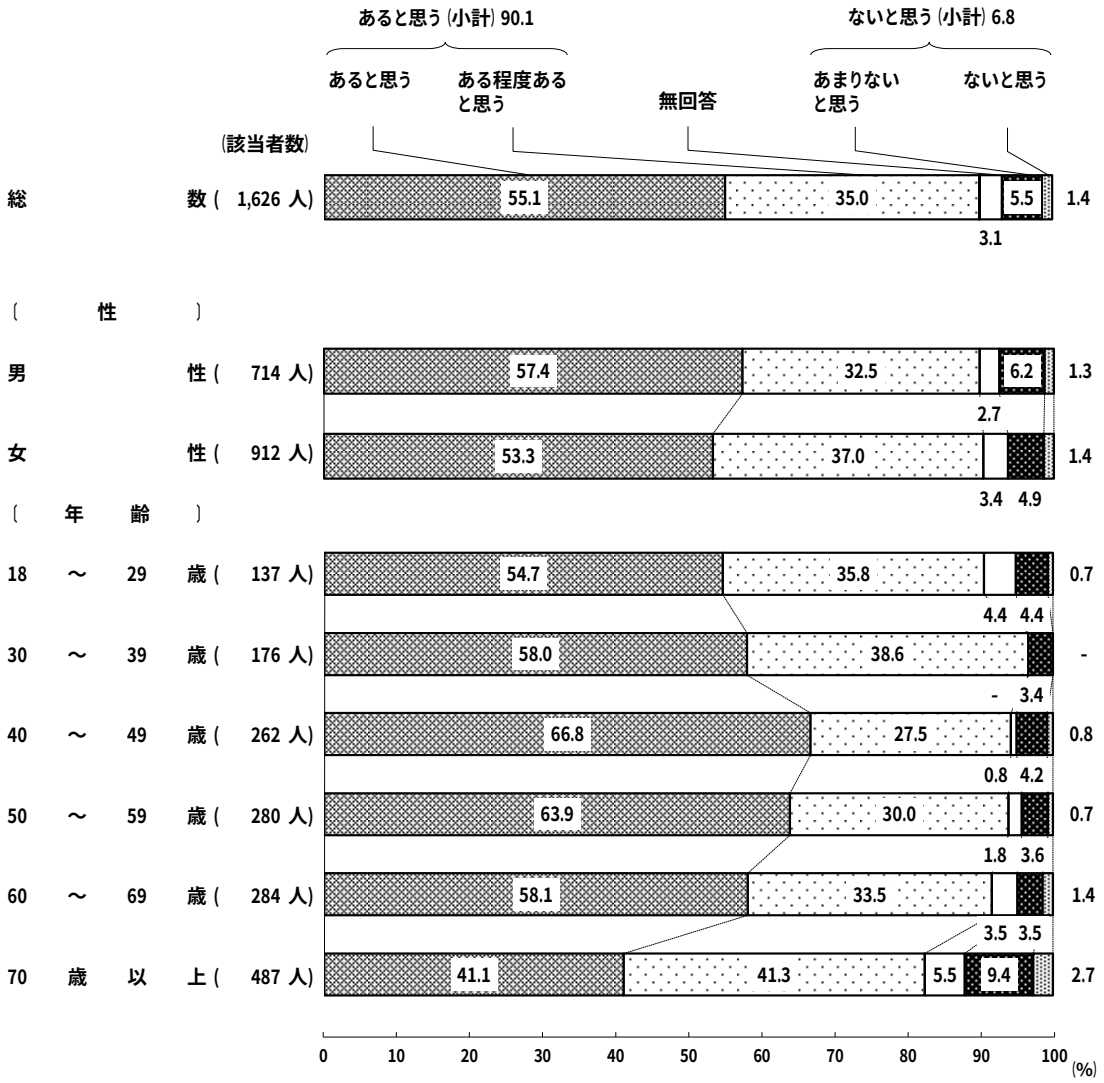

表８　がんの新しい治療法に関する情報

	該当者数	あると思う（小計）	あると思う	ある程度あると思う	ないと思う（小計）	あまりないと思う	ないと思う	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	90.1	55.1	35.0	6.8	5.5	1.4	3.1
〔都市規模〕								
大都市	446	90.8	60.1	30.7	6.7	6.3	0.4	2.5
東京都区部	107	88.8	57.9	30.8	9.3	9.3	-	1.9
政令指定都市	339	91.4	60.8	30.7	5.9	5.3	0.6	2.7
中都市	679	91.2	59.1	32.1	5.9	4.3	1.6	2.9
小都市	360	89.2	47.8	41.4	7.8	5.6	2.2	3.1
町村	141	85.1	39.0	46.1	9.2	8.5	0.7	5.7
〔性〕								
男性	714	89.9	57.4	32.5	7.4	6.2	1.3	2.7
女性	912	90.2	53.3	37.0	6.4	4.9	1.4	3.4
〔年齢〕								
18～29歳	137	90.5	54.7	35.8	5.1	4.4	0.7	4.4
30～39歳	176	96.6	58.0	38.6	3.4	3.4	-	-
40～49歳	262	94.3	66.8	27.5	5.0	4.2	0.8	0.8
50～59歳	280	93.9	63.9	30.0	4.3	3.6	0.7	1.8
60～69歳	284	91.5	58.1	33.5	4.9	3.5	1.4	3.5
70歳以上	487	82.3	41.1	41.3	12.1	9.4	2.7	5.5

（２）セカンド・オピニオンに対する意識

【資料 1】　セカンド・オピニオンについて
治療のための手術など重大な決断をする際に情報も知識もない患者や家族には、治療法の決定ができなかったり、不安を覚えたりする場合があります。こうした場合に、従来どおり担当医より治療法などの説明を受ける他、判断材料として担当医以外の医師の意見を聞く方法を「セカンド・オピニオン」といいます。

（上記資料１を提示して）
問９．あなたは、がんと診断された場合に、セカンド・オピニオンを受けることについて、どのように思いますか。（○は１つ）

	令和５年７月
良いことだと思う（小計）	**97.4%**
・良いことだと思う	75.3%
・どちらかといえば良いことだと思う	22.0%
良いことだと思わない（小計）	**1.4%**
・どちらかといえば良いことだと思わない	1.0%
・良いことだと思わない	0.4%

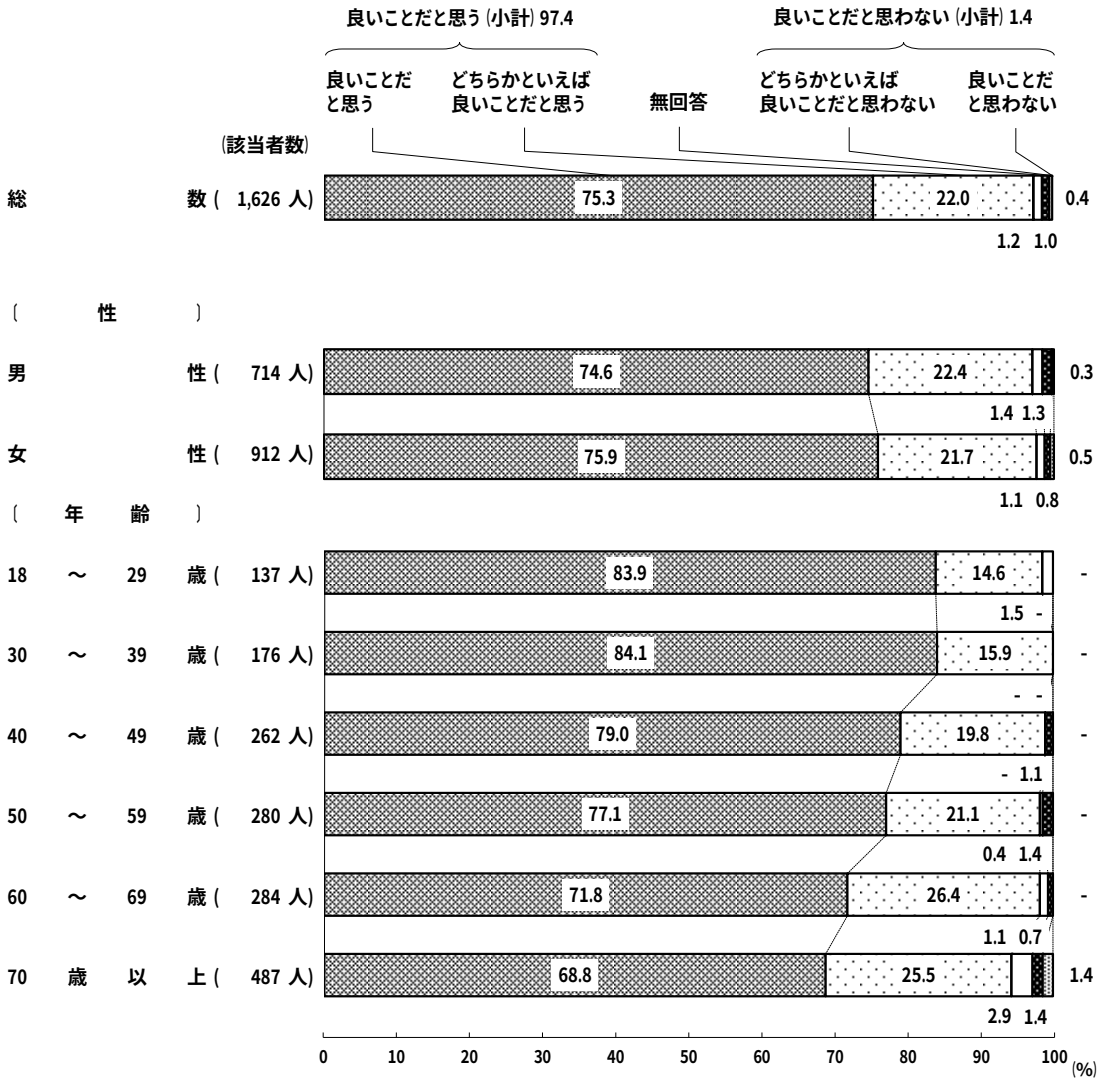

表９　セカンド・オピニオンに対する意識

	該当者数	良いことだと思う（小計）	良いことだと思う	どちらかといえば良いことだと思う	良いことだと思わない（小計）	どちらかといえば良いことだと思わない	良いことだと思わない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	97.4	75.3	22.0	1.4	1.0	0.4	1.2
〔都市規模〕								
大都市	446	98.2	79.4	18.8	0.7	0.7	-	1.1
東京都区部	107	99.1	80.4	18.7	-	-	-	0.9
政令指定都市	339	97.9	79.1	18.9	0.9	0.9	-	1.2
中都市	679	97.9	76.6	21.4	1.3	1.0	0.3	0.7
小都市	360	95.3	70.8	24.4	2.5	1.7	0.8	2.2
町村	141	97.2	68.1	29.1	1.4	-	1.4	1.4
〔性〕								
男性	714	97.1	74.6	22.4	1.5	1.3	0.3	1.4
女性	912	97.6	75.9	21.7	1.3	0.8	0.5	1.1
〔年齢〕								
18～29歳	137	98.5	83.9	14.6	-	-	-	1.5
30～39歳	176	100.0	84.1	15.9	-	-	-	-
40～49歳	262	98.9	79.0	19.8	1.1	1.1	-	-
50～59歳	280	98.2	77.1	21.1	1.4	1.4	-	0.4
60～69歳	284	98.2	71.8	26.4	0.7	0.7	-	1.1
70歳以上	487	94.3	68.8	25.5	2.9	1.4	1.4	2.9

表９－参考１　セカンド・オピニオンに対する意向

	該当者数	必要と思う（小計）	必要と思う	どちらかといえば、必要と思う	必要と思わない（小計）	どちらかといえば、必要ではない	必要ではない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成21年9月調査	1,935	89.6	64.3	25.3	5.8	3.2	2.7	4.5

（注１）「あなたは、もしもがんと診断され治療を行う場合、「セカンド・オピニオン」が必要だと思いますか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。
（注２）平成21年９月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

表９－参考２　セカンド・オピニオンに対する意向

	該当者数	必要と思う（小計）	必要と思う	どちらかといえば、必要と思う	どちらともいえない	必要と思わない（小計）	どちらかといえば、必要ではない	必要ではない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	81.5	63.8	17.7	8.9	5.6	3.1	2.5	4.0

（注）「あなたは、もしもがんと診断され治療を行う場合、「セカンド・オピニオン」が必要だと思いますか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。

（３）がんの免疫療法に対する意識

問 10．がんの免疫療法とは、がん患者自身の免疫機能を高めることでがん細胞を排除する治療法です。あなたは、がんの免疫療法について、どのように思いますか。（○はいくつでも）

（上位４項目）

	令和５年７月
・医師から薦められたら、がんの免疫療法を受けたいと思う	52.5%
・がんの免疫療法に関する情報は、どれが正確な情報か判断が難しいと思う	31.9%
・がんの免疫療法については知らなかった	29.6%
・効果は限定的だと思う	24.8%

（複数回答）

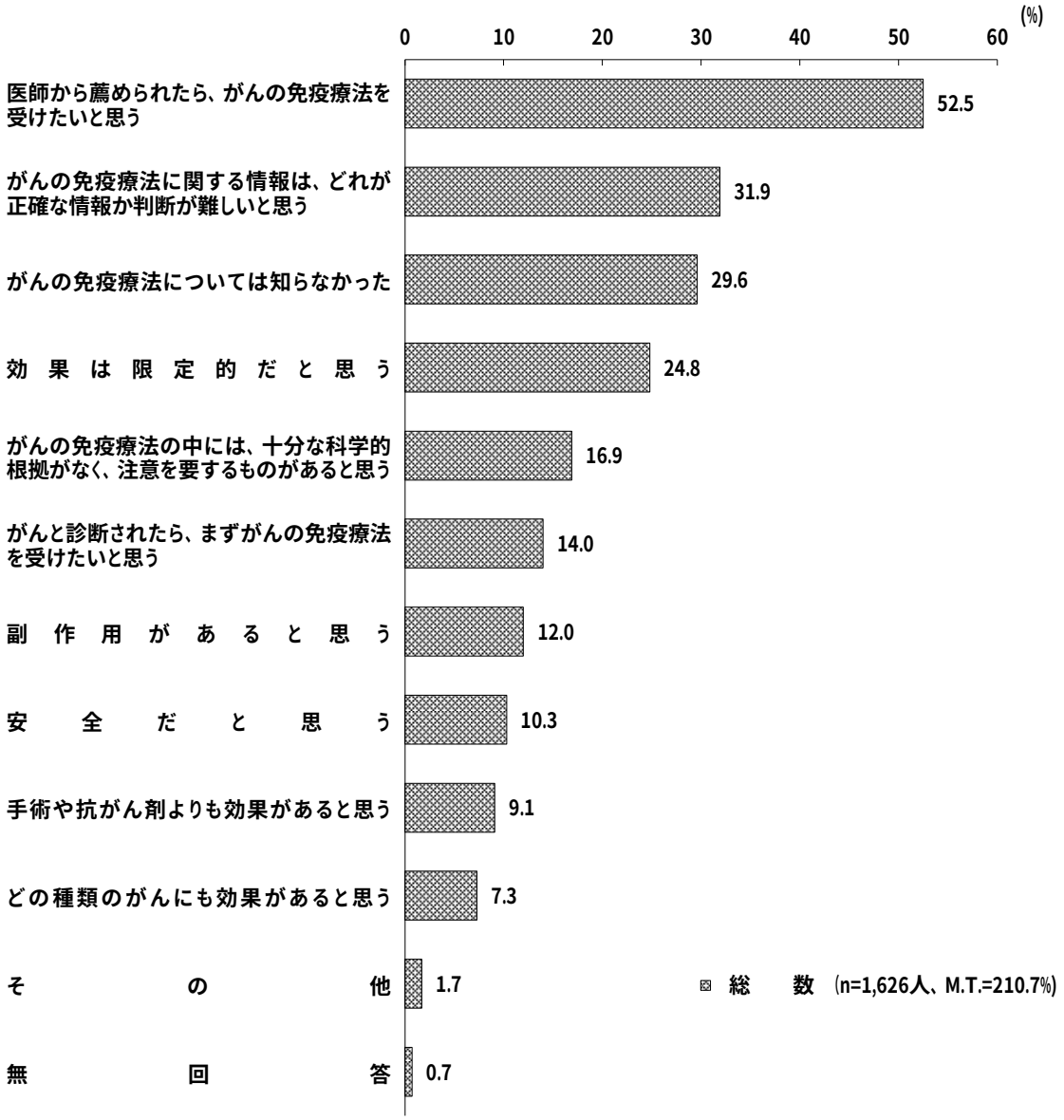

表 10　がんの免疫療法に対する意識

（複数回答）

	該当者数	医師から薦められたら、がんの免疫療法を受けたいと思う	がんの免疫療法に関する情報は、どれが正確な情報か判断が難しいと思う	がんの免疫療法については知らなかった	効果は限定的だと思う	がんの免疫療法の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思う	がんと診断されたら、まずがんの免疫療法を受けたいと思う	副作用があると思う	安全だと思う	手術や抗がん剤よりも効果があると思う	どの種類のがんにも効果があると思う	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	52.5	31.9	29.6	24.8	16.9	14.0	12.0	10.3	9.1	7.3	1.7	0.7	210.7
〔都市規模〕														
大都市	446	49.3	33.4	29.1	24.4	18.2	12.8	11.0	9.4	8.1	7.2	1.6	0.7	205.2
東京都区部	107	45.8	32.7	31.8	23.4	12.1	12.1	7.5	9.3	7.5	6.5	2.8	-	191.6
政令指定都市	339	50.4	33.6	28.3	24.8	20.1	13.0	12.1	9.4	8.3	7.4	1.2	0.9	209.4
中都市	679	52.4	31.5	31.2	25.9	18.0	13.1	11.2	11.0	7.8	6.9	1.8	0.4	211.3
小都市	360	53.6	34.7	26.4	24.4	16.4	16.1	13.6	10.0	12.8	7.5	1.9	1.4	218.9
町村	141	59.6	21.3	31.2	22.0	9.2	16.3	14.9	10.6	9.2	9.2	0.7	-	204.3
〔性〕														
男性	714	53.6	28.4	26.5	28.6	15.4	16.2	11.9	10.8	11.5	8.5	1.1	0.6	213.2
女性	912	51.5	34.5	32.0	21.9	18.1	12.2	12.1	10.0	7.2	6.4	2.1	0.8	208.8
〔年齢〕														
18～29歳	137	40.9	15.3	42.3	21.9	7.3	8.0	14.6	12.4	5.8	5.8	0.7	-	175.2
30～39歳	176	40.3	26.7	34.7	18.8	16.5	9.1	11.4	14.8	5.7	6.8	2.3	0.6	187.5
40～49歳	262	53.4	35.1	31.3	23.3	25.2	7.3	8.0	11.1	8.8	7.6	2.3	-	213.4
50～59歳	280	52.5	32.5	27.9	26.4	17.5	13.6	9.6	15.4	9.6	8.2	2.5	0.4	216.1
60～69歳	284	53.5	39.1	24.3	28.5	19.7	15.5	11.3	7.0	8.8	4.6	1.1	1.4	214.8
70歳以上	487	58.9	32.0	27.3	25.7	13.3	20.3	15.4	6.8	11.3	8.8	1.2	1.0	222.2

表 10－参考　がんの免疫療法に対する意識

（複数回答）

	該当者数	医師から薦められたら、がんの免疫療法を受けたいと思う	効果は限定的だと思う	がんの免疫療法に関する情報は、どれが正確な情報か判断が難しいと思う	がんの免疫療法については知らなかった	手術や抗がん剤よりも効果があると思う	副作用があると思う	がんと診断されたら、まずがんの免疫療法を受けたいと思う	安全だと思う	がんの免疫療法の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思う	どの種類のがんにも効果があると思う	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和元年７月調査	1,647	35.9	23.0	20.0	19.2	17.8	16.3	14.1	12.8	9.5	6.4	0.5	3.8	7.5	186.9

（注１）「あなたは、がんの免疫療法についてどのような印象をもっていますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

（４）緩和ケアを開始すべき時期

問 11．がん医療における緩和ケアとは、がんやがんの治療に伴う体と心の痛みをやわらげることです。あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思いますか。（○は１つ）

	令和５年７月
・がんと診断されたときから	49.7%
・がんの治療が始まったときから	25.5%
・がんが治る見込みがなくなったときから	22.0%

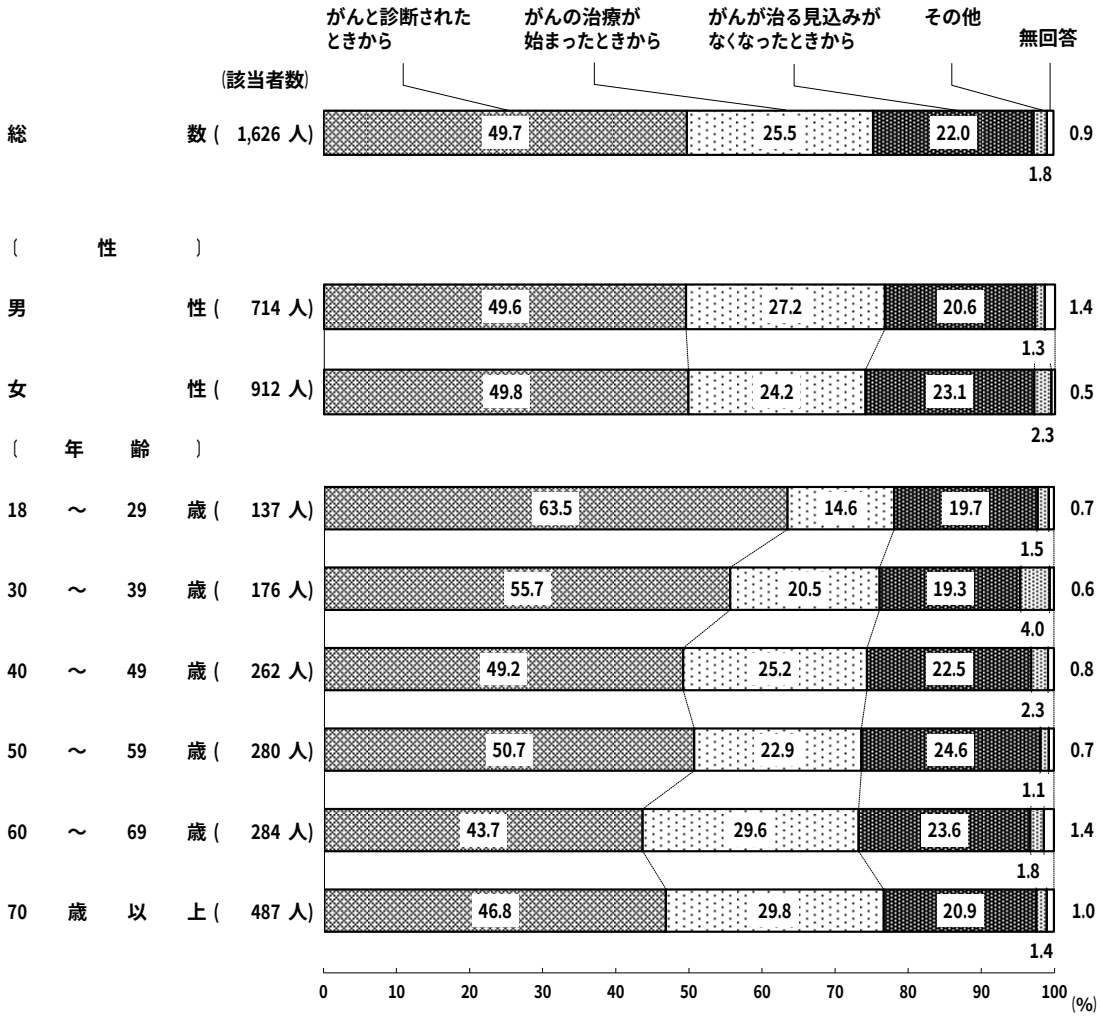

表 11　緩和ケアを開始すべき時期

	該当者数	がんと診断されたときから	がんの治療が始まったときから	がんが治る見込みがなくなったときから	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%
総数	1,626	49.7	25.5	22.0	1.8	0.9
〔都市規模〕						
大都市	446	51.8	22.4	23.8	1.6	0.4
東京都区部	107	57.0	16.8	24.3	1.9	-
政令指定都市	339	50.1	24.2	23.6	1.5	0.6
中都市	679	47.0	26.5	23.6	1.9	1.0
小都市	360	51.9	25.6	18.3	2.5	1.7
町村	141	50.4	30.5	18.4	0.7	-
〔性〕						
男性	714	49.6	27.2	20.6	1.3	1.4
女性	912	49.8	24.2	23.1	2.3	0.5
〔年齢〕						
18～29歳	137	63.5	14.6	19.7	1.5	0.7
30～39歳	176	55.7	20.5	19.3	4.0	0.6
40～49歳	262	49.2	25.2	22.5	2.3	0.8
50～59歳	280	50.7	22.9	24.6	1.1	0.7
60～69歳	284	43.7	29.6	23.6	1.8	1.4
70歳以上	487	46.8	29.8	20.9	1.4	1.0

表 11－参考　緩和ケアを開始すべき時期

	該当者数	がんと診断されたときから	がんの治療が始まったときから	がんが治る見込みがなくなったときから	その他	わからない
	人	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,883	58.3	22.6	13.1	0.6	5.5
平成26年11月調査	1,799	57.9	21.8	13.9	0.6	5.8
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	55.9	20.5	16.3	0.4	6.8
平成28年11月調査	1,815	56.1	20.5	16.2	0.4	6.7
令和元年7月調査	1,647	52.2	21.7	19.6	1.0	5.6

（注１）平成28年11月調査までは、がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげることですが、がん医療における緩和ケアについて知っていたかを聞いた上で、「あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査では、「がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みをやわらげることですが、あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。

（注３）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

（５）医療用麻薬に対する意識

【資料２】　医療用麻薬について

モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルなどの「医療用麻薬」は、がんなどの激しい痛みの治療などに用いられる医薬品で、痛みを伝える神経に作用して痛みをやわらげます。

医療用麻薬は、がんの進行度に関わらず、痛みの程度に応じて使用することができます。

（上記資料２を提示して）
問 12．あなたは医療用麻薬について、どのように思いますか。（○はいくつでも）

（上位４項目）

	令和５年７月
・正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う	**67.2%**
・正しく使用すれば安全だと思う	**43.9%**
・最後の手段だと思う	**29.0%**
・だんだん効かなくなると思う	**27.7%**

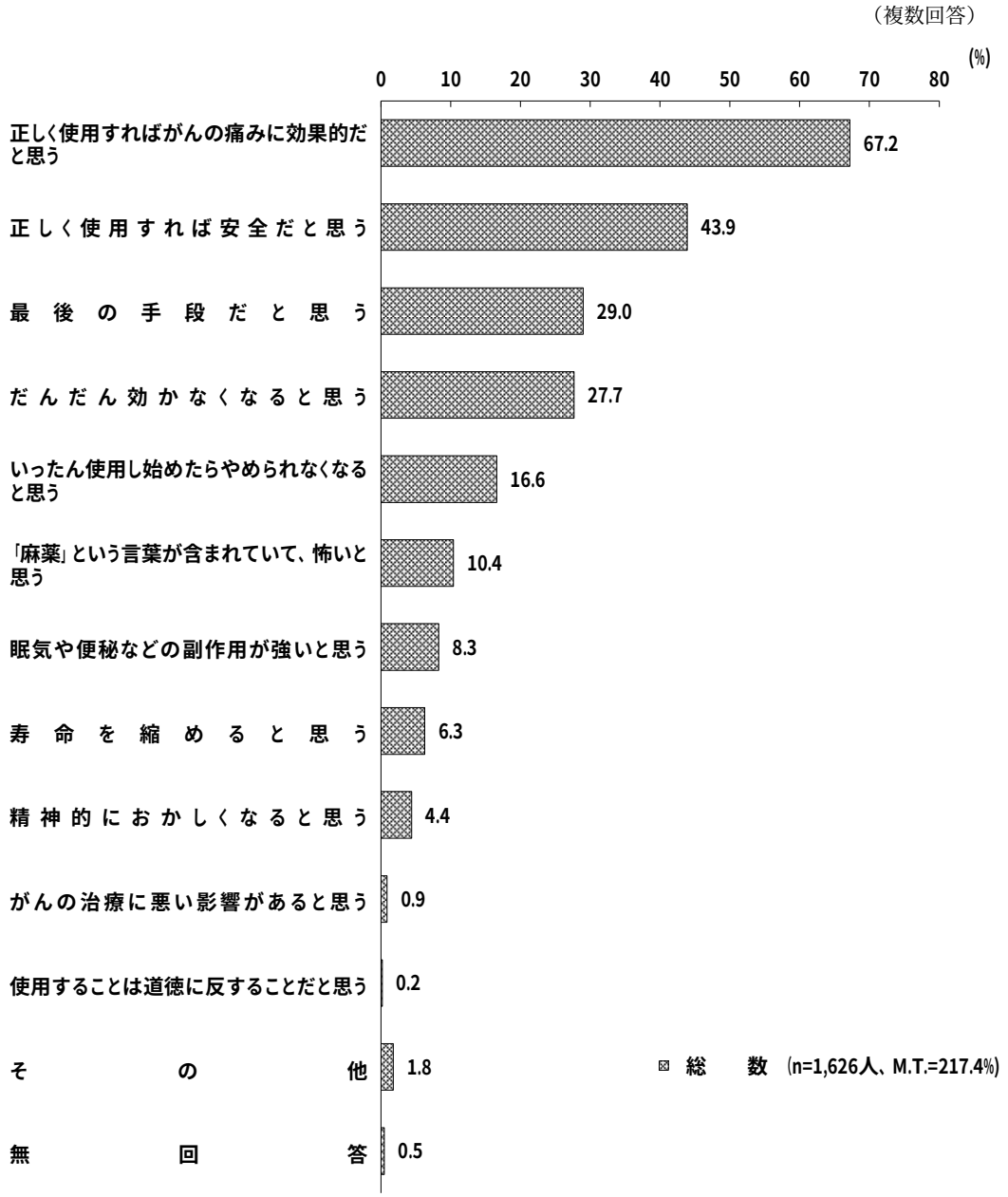

表 12　医療用麻薬に対する意識

（複数回答）

	該当者数	正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う	正しく使用すれば安全だと思う	最後の手段だと思う	だんだん効かなくなると思う	いったん使用し始めたらやめられなくなると思う	「麻薬」という言葉が含まれていて、怖いと思う	眠気や便秘などの副作用が強いと思う	寿命を縮めると思う	精神的におかしくなると思う	がんの治療に悪い影響があると思う	使用することは道徳に反することだと思う	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	67.2	43.9	29.0	27.7	16.6	10.4	8.3	6.3	4.4	0.9	0.2	1.8	0.5	217.4
〔都市規模〕															
大都市	446	67.3	45.5	27.1	28.0	15.7	11.2	10.5	5.6	4.5	0.4	0.2	1.8	-	217.9
東京都区部	107	70.1	43.0	24.3	28.0	19.6	15.9	5.6	6.5	3.7	0.9	0.9	2.8	-	221.5
政令指定都市	339	66.4	46.3	28.0	28.0	14.5	9.7	12.1	5.3	4.7	0.3	-	1.5	-	216.8
中都市	679	69.1	42.0	30.6	26.8	17.4	10.2	8.0	7.2	4.1	0.7	0.3	1.5	0.7	218.6
小都市	360	62.5	45.0	30.0	29.4	17.2	10.6	6.4	6.9	4.7	1.7	0.3	2.2	0.3	217.2
町村	141	70.2	45.4	24.8	27.0	14.2	8.5	7.8	2.8	4.3	1.4	-	2.8	1.4	210.6
〔性〕															
男性	714	67.1	46.1	25.6	28.2	16.2	7.7	6.6	4.8	4.6	0.8	-	1.4	0.6	209.7
女性	912	67.3	42.2	31.7	27.4	16.9	12.5	9.6	7.6	4.2	1.0	0.4	2.2	0.4	223.5
〔年齢〕															
18～29歳	137	50.4	54.0	21.2	30.7	15.3	14.6	13.1	4.4	4.4	0.7	-	0.7	-	209.5
30～39歳	176	61.4	51.7	22.2	25.6	12.5	14.8	13.1	6.3	4.0	-	-	2.3	0.6	214.2
40～49歳	262	61.5	45.4	31.3	27.9	17.6	9.5	9.9	6.1	6.1	0.8	0.4	2.7	0.4	219.5
50～59歳	280	71.8	43.9	27.5	30.7	17.5	9.3	7.5	5.4	3.6	1.4	0.4	2.1	0.4	221.4
60～69歳	284	74.3	38.4	28.2	28.2	15.1	9.5	7.4	4.6	3.5	1.8	-	1.1	0.7	212.7
70歳以上	487	70.4	40.7	33.9	25.7	18.3	9.2	5.3	8.6	4.5	0.6	0.4	1.8	0.6	220.1

表 12－参考　医療用麻薬に対する意識

（複数回答）

	該当者数	正しく使用すれば安全だと思う	正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う	最後の手段だと思う	だんだん効かなくなると思う	いったん使用し始めたらやめられなくなると思う	「麻薬」という言葉が含まれていて、怖いと思う	眠気や便秘などの副作用が強いと思う	寿命を縮めると思う	精神的におかしくなると思う	がんの治療に悪い影響があると思う	使用することは道徳に反することだと思う	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成26年11月調査	1,799	52.8	55.7	32.6	37.1	17.7	11.6	15.3	12.9	10.0	2.2	1.2	0.2	0.9	2.2	252.3
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	52.9	52.9	31.7	29.3	14.9	14.0	13.5	11.0	9.3	1.8	2.3	0.3	1.3	2.7	237.9
平成28年11月調査	1,815	52.7	52.9	31.5	29.1	14.8	14.0	13.7	11.0	9.3	1.8	2.4	0.3	1.3	2.7	237.5
令和元年７月調査	1,647	48.3	47.5	30.4	26.8	15.1	10.8	8.7	8.0	7.9	1.3	1.0	0.2	1.2	2.9	210.0

（注１）「あなたは、医療用麻薬についてどのような印象を持っていますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

5　がん患者と社会とのつながりについて

（１）がんであることを話せるか

問 13．あなたががんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを話せると思いますか。（○は１つ）

	令和５年７月
話せると思う（小計）	93.2%
・話せると思う	67.8%
・どちらかといえば話せると思う	25.4%
話せると思わない（小計）	6.2%
・どちらかといえば話せると思わない	5.1%
・話せると思わない	1.0%

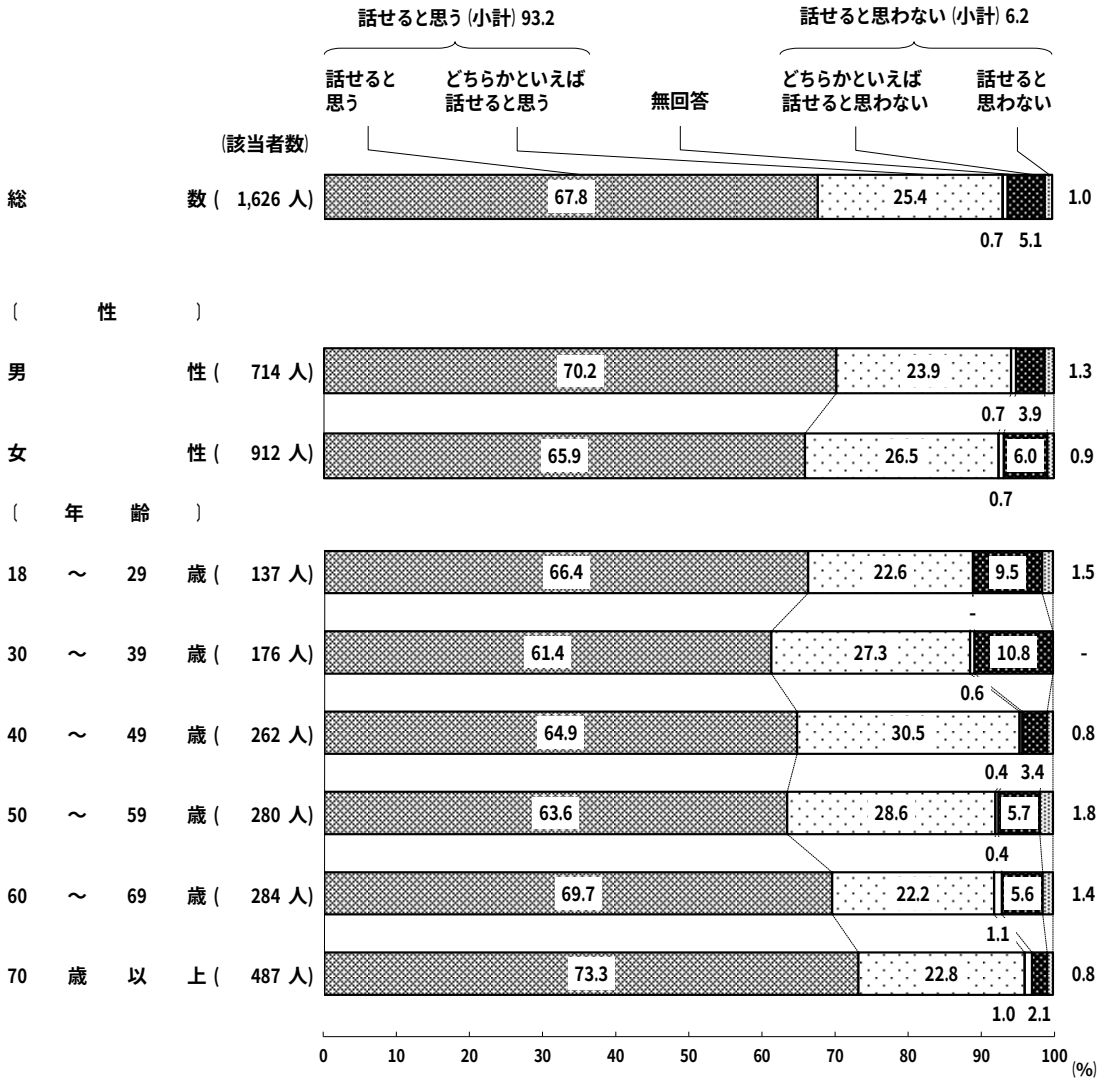

表 13　がんであることを話せるか

	該当者数	話せると思う（小計）	話せると思う	どちらかといえば話せると思う	話せると思わない（小計）	どちらかといえば話せると思わない	話せると思わない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	93.2	67.8	25.4	6.2	5.1	1.0	0.7
〔都市規模〕								
大都市	446	94.2	69.3	24.9	5.8	4.9	0.9	-
東京都区部	107	93.5	68.2	25.2	6.5	4.7	1.9	-
政令指定都市	339	94.4	69.6	24.8	5.6	5.0	0.6	-
中都市	679	92.3	66.4	25.9	6.6	5.3	1.3	1.0
小都市	360	93.6	70.6	23.1	5.6	4.4	1.1	0.8
町村	141	92.9	62.4	30.5	6.4	6.4	-	0.7
〔性〕								
男性	714	94.1	70.2	23.9	5.2	3.9	1.3	0.7
女性	912	92.4	65.9	26.5	6.9	6.0	0.9	0.7
〔年齢〕								
18～29歳	137	89.1	66.4	22.6	10.9	9.5	1.5	-
30～39歳	176	88.6	61.4	27.3	10.8	10.8	-	0.6
40～49歳	262	95.4	64.9	30.5	4.2	3.4	0.8	0.4
50～59歳	280	92.1	63.6	28.6	7.5	5.7	1.8	0.4
60～69歳	284	91.9	69.7	22.2	7.0	5.6	1.4	1.1
70歳以上	487	96.1	73.3	22.8	2.9	2.1	0.8	1.0

表 13－参考　がんであることを話せるか

	該当者数	話せると思う（小計）	話せると思う	どちらかといえば話せると思う	話せると思わない（小計）	どちらかといえば話せると思わない	話せると思わない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,883	85.7	59.9	25.9	13.0	8.2	4.8	1.3
平成26年11月調査	1,799	87.3	63.1	24.1	11.9	7.9	3.9	0.8
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	87.8	66.5	21.3	11.6	6.9	4.6	0.6
平成28年11月調査	1,815	88.0	66.4	21.5	11.4	6.8	4.6	0.6
令和元年7月調査	1,647	88.8	66.1	22.6	10.3	6.3	4.1	0.9

（注１）「あなたご自身が、がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを自由に話せると思いますか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

（２）仕事と治療等の両立について

問 14．あなたは、がんの治療や検査のために 2 週間に一度程度病院に通う必要がある場合、現在の日本の社会は、働き続けられる環境だと思いますか。（○は１つ）

	令和５年７月
そう思う（小計）	45.4%
・そう思う	8.6%
・どちらかといえばそう思う	36.8%
そう思わない（小計）	53.5%
・どちらかといえばそう思わない	39.1%
・そう思わない	14.5%

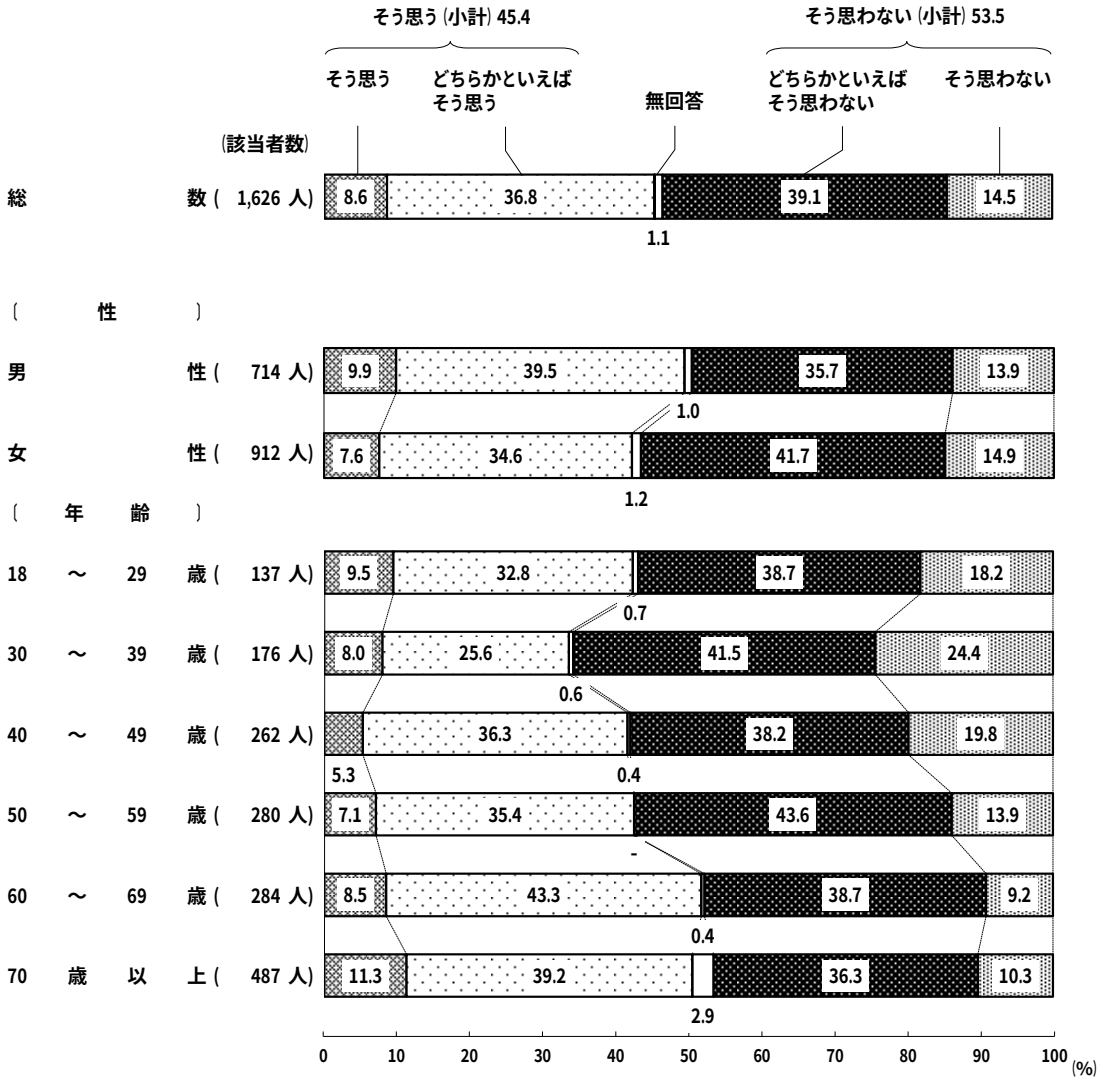

表 14　仕事と治療等の両立について

	該当者数	そう思う（小計）	そう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない（小計）	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	45.4	8.6	36.8	53.5	39.1	14.5	1.1
〔都市規模〕								
大都市	446	43.7	9.2	34.5	55.6	41.0	14.6	0.7
東京都区部	107	46.7	9.3	37.4	52.3	35.5	16.8	0.9
政令指定都市	339	42.8	9.1	33.6	56.6	42.8	13.9	0.6
中都市	679	47.1	8.2	38.9	51.4	38.0	13.4	1.5
小都市	360	42.2	8.1	34.2	56.9	40.3	16.7	0.8
町村	141	50.4	9.9	40.4	48.2	34.8	13.5	1.4
〔性〕								
男性	714	49.4	9.9	39.5	49.6	35.7	13.9	1.0
女性	912	42.2	7.6	34.6	56.6	41.7	14.9	1.2
〔年齢〕								
18～29歳	137	42.3	9.5	32.8	56.9	38.7	18.2	0.7
30～39歳	176	33.5	8.0	25.6	65.9	41.5	24.4	0.6
40～49歳	262	41.6	5.3	36.3	58.0	38.2	19.8	0.4
50～59歳	280	42.5	7.1	35.4	57.5	43.6	13.9	-
60～69歳	284	51.8	8.5	43.3	47.9	38.7	9.2	0.4
70歳以上	487	50.5	11.3	39.2	46.6	36.3	10.3	2.9

表 14－参考　仕事と治療等の両立について

	該当者数	そう思う（小計）	そう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない（小計）	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,883	26.1	8.2	17.8	68.9	35.8	33.0	5.0
平成26年11月調査	1,799	28.9	10.4	18.5	65.7	38.2	27.5	5.4
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	28.0	9.9	18.1	64.2	34.8	29.4	7.8
平成28年11月調査	1,815	27.9	9.8	18.1	64.5	35.2	29.3	7.7
令和元年7月調査	1,647	37.1	12.8	24.3	57.4	34.5	23.0	5.5

（注１）「現代の日本の社会では、がんの治療や検査のために２週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働きつづけられる環境だと思いますか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

ア　両立を困難にする最大の要因

（問 14 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者に）
問 15．働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。（○は１つ）

令和５年７月

・代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから	**22.3%**
・職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから	**15.7%**
・休むと職場での評価が下がるから	**4.4%**
・がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから	**28.4%**
・がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから	**14.7%**

（日本の社会は、通院しながら働き続けられる環境と思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者に）

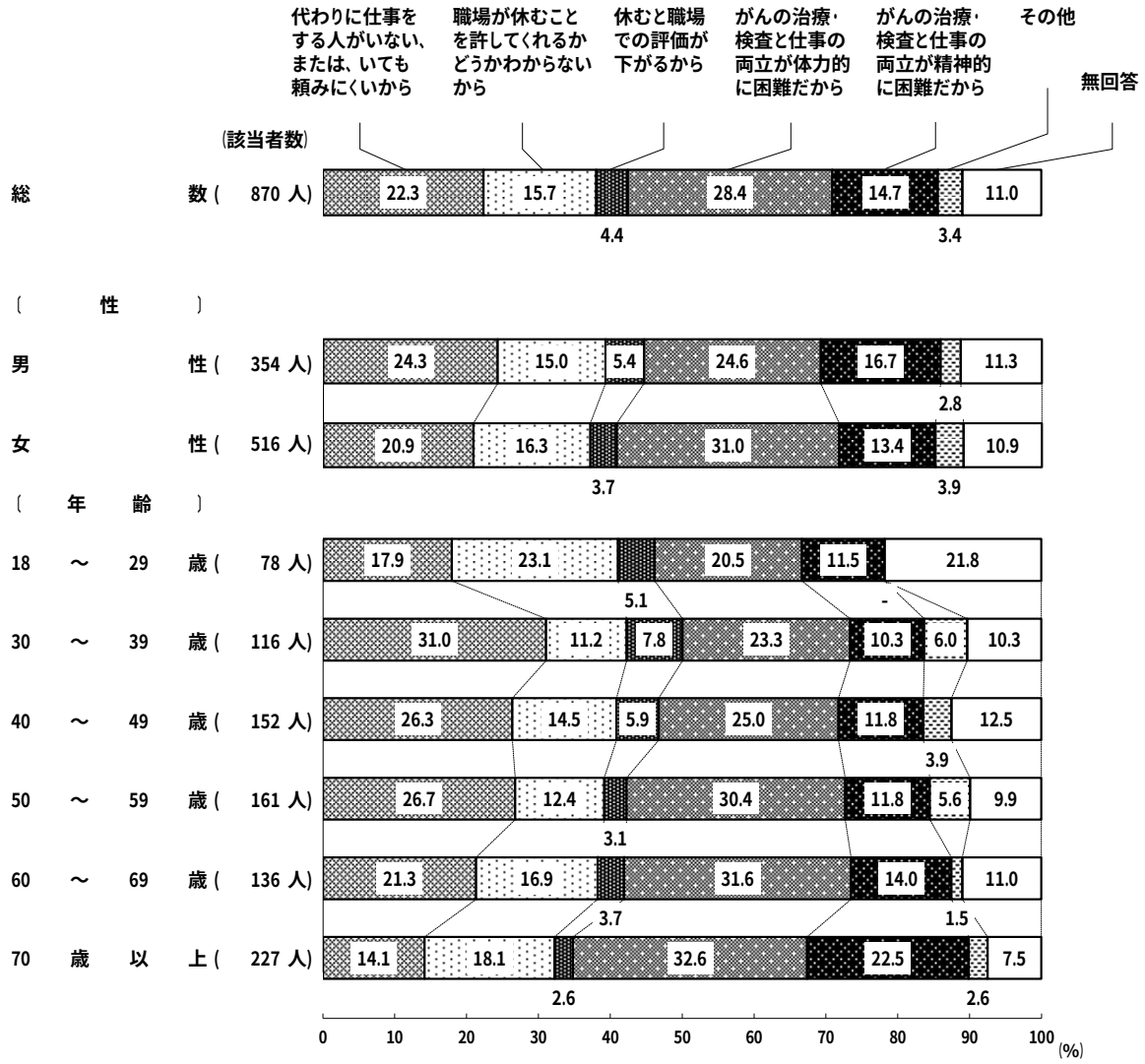

表 15　両立を困難にする最大の要因

（日本の社会は、通院しながら働き続けられる環境と思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者に）

	該当者数	代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから	職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから	休むと職場での評価が下がるから	がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから	がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから	その他	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	870	22.3	15.7	4.4	28.4	14.7	3.4	11.0
〔都市規模〕								
大都市	248	24.6	12.9	7.7	24.2	14.9	4.4	11.3
東京都区部	56	17.9	7.1	5.4	37.5	16.1	7.1	8.9
政令指定都市	192	26.6	14.6	8.3	20.3	14.6	3.6	12.0
中都市	349	22.3	17.5	3.2	29.5	14.3	2.3	10.9
小都市	205	18.5	16.1	2.9	31.2	16.1	4.9	10.2
町村	68	25.0	16.2	2.9	29.4	11.8	1.5	13.2
〔性〕								
男性	354	24.3	15.0	5.4	24.6	16.7	2.8	11.3
女性	516	20.9	16.3	3.7	31.0	13.4	3.9	10.9
〔年齢〕								
18～29歳	78	17.9	23.1	5.1	20.5	11.5	-	21.8
30～39歳	116	31.0	11.2	7.8	23.3	10.3	6.0	10.3
40～49歳	152	26.3	14.5	5.9	25.0	11.8	3.9	12.5
50～59歳	161	26.7	12.4	3.1	30.4	11.8	5.6	9.9
60～69歳	136	21.3	16.9	3.7	31.6	14.0	1.5	11.0
70歳以上	227	14.1	18.1	2.6	32.6	22.5	2.6	7.5

表 15－参考　両立を困難にする最大の要因

（日本の社会は、通院しながら働き続けられる環境と思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者に）

	該当者数	がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから	代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから	職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから	休むと収入が減ってしまうから	がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから	休むと職場での評価が下がるから	その他	特にない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成26年11月調査	1,182	17.9	22.6	22.2	13.1	13.2	8.8	0.4	0.6	1.3
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,150	19.8	21.9	21.1	15.9	12.8	6.0	0.4	0.5	1.5
平成28年11月調査	1,170	19.9	21.7	21.3	15.9	12.8	6.0	0.4	0.5	1.5
令和元年7月調査	946	23.5	20.9	19.1	16.6	12.5	5.1	0.4	0.7	1.2

（注１）「がんの治療や検査のために２週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。この中から１つだけお答えください。」と聞いている。

（注２）令和元年７月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

6　がん対策に関する政府への要望について

（１）政府に対する要望

問 16．あなたは、がん対策について、政府としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。（○はいくつでも）

（上位５項目）
令和５年７月

・拠点病院の充実などのがん医療に関わる医療機関の整備	**68.2%**
・仕事・学校を続けられるための相談・支援体制の整備	**51.8%**
・がんに関する専門的医療従事者の育成	**49.5%**
・がんに関する相談やその支援	**46.0%**
・がん検診によるがんの早期発見	**43.8%**

（複数回答）

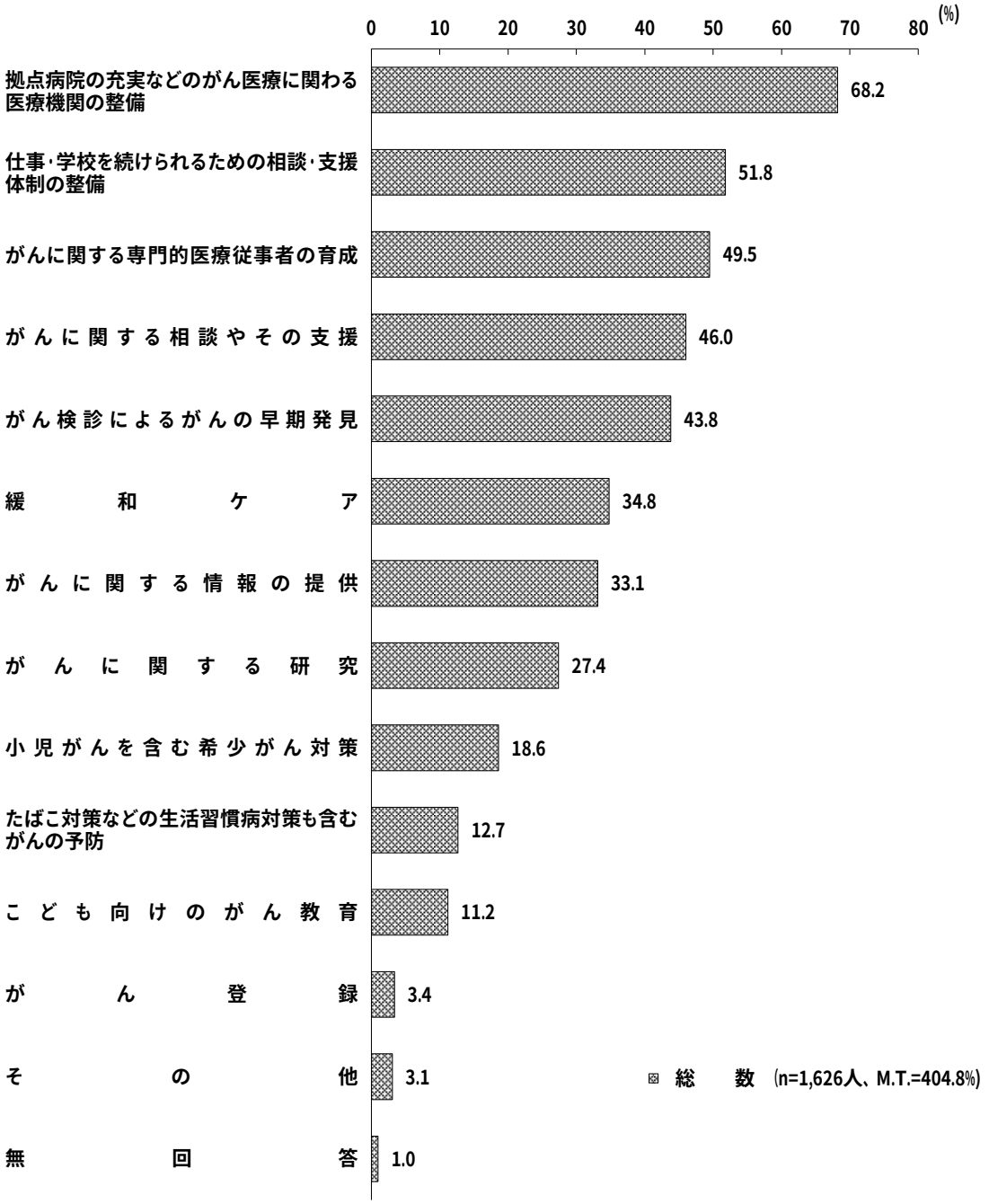

表 16　政府に対する要望

（複数回答）

	該当者数	拠点病院の充実などのがん医療に関わる医療機関の整備	仕事・学校を続けられるための相談・支援体制の整備	がんに関する専門的医療従事者の育成	がんに関する相談やその支援	がん検診によるがんの早期発見	緩和ケア	がんに関する情報の提供	がんに関する研究	小児がんを含む希少がん対策	たばこ対策などの生活習慣病対策も含むがんの予防	こども向けのがん教育	がん登録	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,626	68.2	51.8	49.5	46.0	43.8	34.8	33.1	27.4	18.6	12.7	11.2	3.4	3.1	1.0	404.8
〔都市規模〕																
大都市	446	64.8	56.3	49.3	46.9	43.9	33.4	36.3	26.0	17.5	13.9	11.9	3.8	4.9	1.1	410.1
東京都区部	107	61.7	59.8	51.4	48.6	42.1	39.3	34.6	21.5	17.8	15.0	15.9	1.9	7.5	0.9	417.8
政令指定都市	339	65.8	55.2	48.7	46.3	44.5	31.6	36.9	27.4	17.4	13.6	10.6	4.4	4.1	1.2	407.7
中都市	679	69.7	52.1	51.1	47.9	44.3	37.3	34.3	30.5	18.3	11.9	11.9	3.1	1.8	0.7	414.9
小都市	360	68.6	48.1	47.2	41.9	43.9	32.2	28.3	24.2	20.0	13.1	9.7	4.2	3.6	0.6	385.6
町村	141	70.9	46.1	48.2	44.7	40.4	34.0	29.8	25.5	20.6	11.3	9.2	2.1	2.1	3.5	388.7
〔性〕																
男性	714	70.4	46.9	48.0	37.7	44.7	31.7	31.1	25.4	15.8	11.1	7.8	3.4	2.9	1.0	377.9
女性	912	66.4	55.7	50.7	52.5	43.1	37.3	34.8	29.1	20.8	13.9	13.8	3.5	3.2	1.1	425.9
〔年齢〕																
18～29歳	137	62.0	56.2	42.3	40.1	51.1	21.2	42.3	31.4	19.0	11.7	16.1	2.2	0.7	0.7	397.1
30～39歳	176	62.5	61.9	42.0	43.8	51.7	26.1	35.2	29.5	23.3	17.0	20.5	2.8	7.4	0.6	424.4
40～49歳	262	66.0	68.3	50.0	41.2	44.7	31.7	37.0	34.0	26.0	16.4	13.7	5.3	5.3	0.8	440.5
50～59歳	280	66.4	59.6	50.4	49.3	38.2	43.9	37.9	34.3	18.9	10.0	12.1	4.6	4.3	0.4	430.4
60～69歳	284	73.6	45.4	50.4	44.4	42.6	33.8	32.7	25.0	16.5	9.9	6.7	2.8	2.1	1.4	387.3
70歳以上	487	71.0	37.4	53.0	50.1	42.3	38.8	25.3	19.5	14.0	12.5	7.2	2.7	0.8	1.6	376.2

表16－参考　政府に対する要望

（複数回答）

	該当者数	がん医療に関わる医療機関の整備（拠点病院の充実など）	がんの早期発見（がん検診）	仕事を続けられるための相談・支援体制の整備（注1）	がんに関する専門的医療従事者の育成	がんに関する相談やその支援	緩和ケア	がんに関する情報の提供	がんに関する研究	がんの予防（たばこ対策などの生活習慣病対策も含む）	子ども向けのがん教育（注2）	希少がん対策（小児がんを含む）	がん登録	手術療法	化学療法（抗がん剤治療）	放射線療法	その他のがんの治療法	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成19年9月調査	1,767	49.1	61.3	※	45.4	40.4	29.8	36.6	34.6	31.2	※	※	15.3	24.6	21.6	19.0	16.6	3.1	3.8	1.5	434.0
平成21年9月調査	1,935	54.4	67.0	※	48.5	45.5	36.4	41.8	39.7	32.1	※	※	21.2	33.7	30.3	26.9	21.3	2.7	2.8	0.9	505.3
平成25年1月調査	1,883	54.2	67.2	50.0	48.0	37.5	30.9	35.7	39.3	37.3	27.7	※	18.1	※	※	※	※	2.0	2.3	1.1	451.1
平成26年11月調査	1,799	64.9	56.5	53.4	55.3	45.4	39.3	37.0	35.9	25.5	26.5	26.6	18.6	※	※	※	※	1.4	1.8	0.9	488.8
平成28年11月調査（うち20歳以上）	1,790	61.5	56.1	49.7	48.3	41.0	37.9	34.1	32.1	24.7	22.4	22.1	17.0	※	※	※	※	1.5	2.1	0.8	451.2
平成28年11月調査	1,815	61.5	56.3	49.6	48.3	40.8	37.9	34.0	32.1	24.8	22.5	22.0	17.0	※	※	※	※	1.5	2.0	0.8	451.1

（注１）平成26年11月調査までは、「がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備」となっている。
（注２）平成26年11月調査までは、「子どもに対する、がんに関する教育」となっている。
（注３）平成28年11月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和５年７月調査との単純比較は行わない。

（２）「患者・市民参画」について

【資料３】　患者・市民参画について

患者やその家族、医療者、研究者などすべての国民がそれぞれの立場からの経験を治療の研究開発や政策などに活かしていこうとする取組を「患者・市民参画」といいます。

（上記資料３を提示して）

問 17．あなたは、「患者・市民参画」について知っていましたか。（○は１つ）

	令和５年７月
・内容も含め知っている	2.0%
・言葉だけは知っている	13.6%
・知らない	83.9%

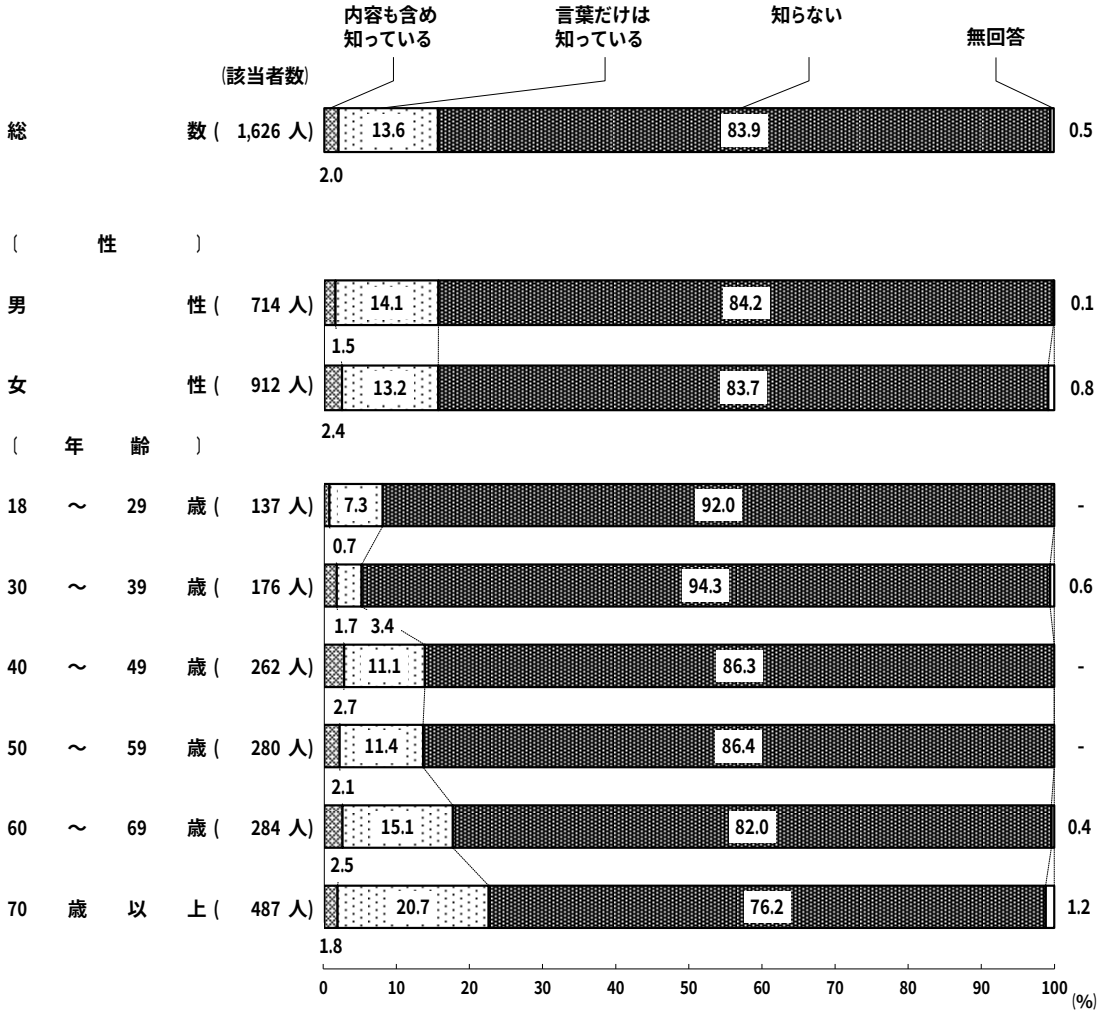

表 17　「患者・市民参画」について

	該当者数	内容も含め知っている	言葉だけは知っている	知らない	無回答
	人	%	%	%	%
総数	1,626	2.0	13.6	83.9	0.5
〔都市規模〕					
大都市	446	2.5	13.5	83.9	0.2
東京都区部	107	1.9	9.3	88.8	-
政令指定都市	339	2.7	14.7	82.3	0.3
中都市	679	1.9	13.3	84.7	0.1
小都市	360	1.4	13.1	84.2	1.4
町村	141	2.8	17.0	79.4	0.7
〔性〕					
男性	714	1.5	14.1	84.2	0.1
女性	912	2.4	13.2	83.7	0.8
〔年齢〕					
18～29歳	137	0.7	7.3	92.0	-
30～39歳	176	1.7	3.4	94.3	0.6
40～49歳	262	2.7	11.1	86.3	-
50～59歳	280	2.1	11.4	86.4	-
60～69歳	284	2.5	15.1	82.0	0.4
70歳以上	487	1.8	20.7	76.2	1.2

（３）「患者・市民参画」に関するあなたの関わり方

問 18．国は「患者・市民参画」を推進していますが、がん対策を進めるに当たって、あなたはどのように関わりたいと思いますか。（○は１つ）

令和５年７月

・対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたい	**8.6%**
・対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたいが、どう関わればよいかよくわからない	**52.4%**
・対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると思うが、積極的に関わりたいとは思わない	**28.5%**
・対策を進めるのは国や専門家であり、積極的に関わるつもりはない	**9.1%**

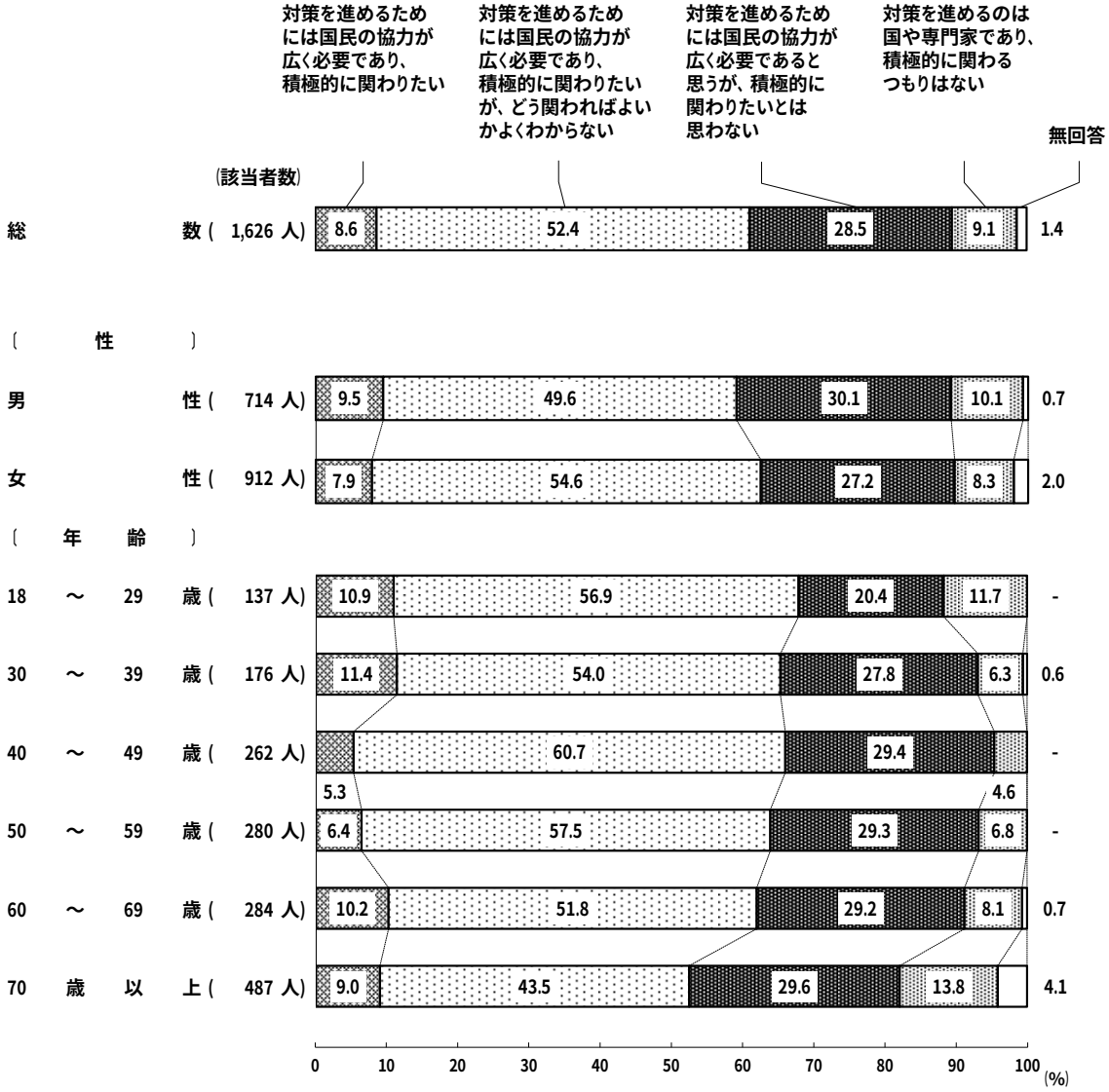

表 18　「患者・市民参画」に関するあなたの関わり方

	該当者数	対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたい	対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、どうせ積極的に関わりたいが、関われればよいかよくわからない	対策を進めるためには国民の協力が広く必要であるとは思うが、積極的に関わりたいとは思わない	対策を進めるのは国や専門家であり、積極的に関わるつもりはない	無回答
	人	%	%	%	%	%
総数	1,626	8.6	52.4	28.5	9.1	1.4
〔都市規模〕						
大都市	446	7.6	54.3	28.3	9.0	0.9
東京都区部	107	6.5	56.1	29.9	7.5	-
政令指定都市	339	8.0	53.7	27.7	9.4	1.2
中都市	679	9.9	52.1	28.3	8.2	1.5
小都市	360	6.9	51.1	30.3	10.0	1.7
町村	141	9.9	51.1	25.5	11.3	2.1
〔性〕						
男性	714	9.5	49.6	30.1	10.1	0.7
女性	912	7.9	54.6	27.2	8.3	2.0
〔年齢〕						
18～29歳	137	10.9	56.9	20.4	11.7	-
30～39歳	176	11.4	54.0	27.8	6.3	0.6
40～49歳	262	5.3	60.7	29.4	4.6	-
50～59歳	280	6.4	57.5	29.3	6.8	-
60～69歳	284	10.2	51.8	29.2	8.1	0.7
70歳以上	487	9.0	43.5	29.6	13.8	4.1

ア　そのように考える理由

（問 18 で「対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたいが、どう関わればよいかよくわからない」、「対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると思うが、積極的に関わりたいとは思わない」と答えた者に）
問 19．そのように考える理由は何ですか。（○はいくつでも）

（上位３項目）

	令和５年７月
・がんの医療やその対策について知識がないから	68.9%
・地域でどのようにがんの医療が提供されているかについて知識がないから	68.3%
・医療保険制度などの公的な仕組みについて知識がないから	53.9%

「患者・市民参画」について、「対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたいが、どう関わればよいかよくわからない」、「対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると思うが、積極的に関わりたいとは思わない」と答えた者に、複数回答

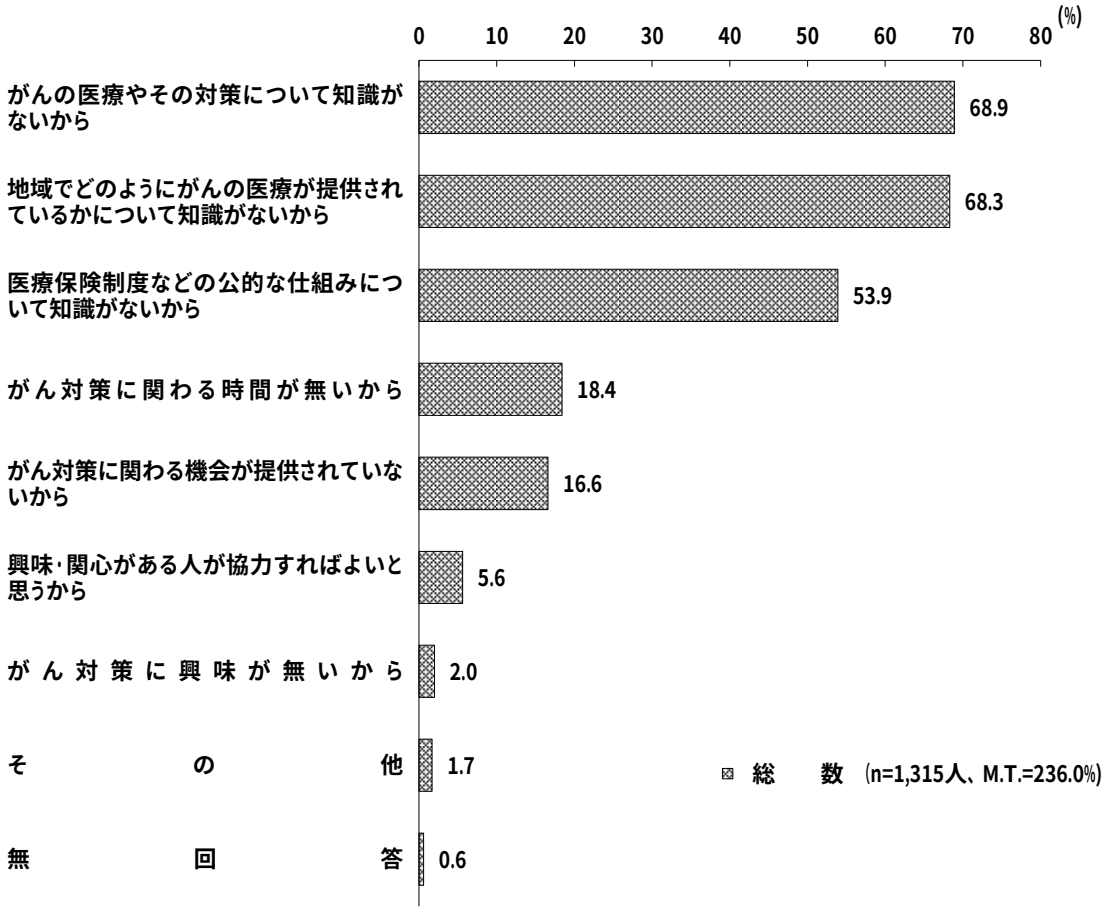

表 19　そのように考える理由

「患者・市民参画」について、「対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたいが、どう関わればよいかよくわからない」、「対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると思うが、積極的に関わりたいとは思わない」と答えた者に、複数回答

	該当者数	がんの医療やその対策について知識がないから	地域でどのようにがんの医療が提供されているかについて知識がないから	医療保険制度などの公的な仕組みについて知識がないから	がん対策に関わる時間が無いから	がん対策に関わる機会が提供されていないから	興味・関心がある人が協力すればよいと思うから	がん対策に興味が無いから	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,315	68.9	68.3	53.9	18.4	16.6	5.6	2.0	1.7	0.6	236.0
〔都市規模〕											
大都市	368	73.6	68.5	48.6	19.3	16.6	4.9	2.4	1.4	0.3	235.6
東京都区部	92	72.8	60.9	51.1	21.7	17.4	3.3	5.4	2.2	-	234.8
政令指定都市	276	73.9	71.0	47.8	18.5	16.3	5.4	1.4	1.1	0.4	235.9
中都市	546	67.9	68.5	54.6	18.3	17.8	5.1	1.5	1.5	0.7	235.9
小都市	293	67.9	67.2	56.7	16.7	15.7	7.8	2.4	3.1	1.0	238.6
町村	108	60.2	69.4	61.1	20.4	13.0	4.6	1.9	0.9	-	231.5
〔性〕											
男性	569	69.4	65.6	52.7	18.8	16.7	6.2	3.0	1.1	0.5	233.9
女性	746	68.5	70.4	54.8	18.1	16.5	5.2	1.2	2.3	0.7	237.7
〔年齢〕											
18～29歳	106	79.2	58.5	60.4	17.9	19.8	6.6	1.9	0.9	-	245.3
30～39歳	144	66.0	65.3	54.2	30.6	18.1	6.9	2.8	2.1	-	245.8
40～49歳	236	70.3	69.1	52.5	26.3	18.2	8.1	2.1	3.4	0.4	250.4
50～59歳	243	70.4	69.5	52.7	24.7	19.8	3.7	3.3	2.1	-	246.1
60～69歳	230	65.2	72.6	53.0	14.8	17.0	5.7	0.9	0.9	0.4	230.4
70歳以上	356	67.4	68.3	54.2	6.5	11.5	4.5	1.4	1.1	1.7	216.6

がん対策に関する世論調査

令和５年７月

（n＝1,626）

がんに対する印象についておうかがいします

この下の 問１ からお答えください

問1．あなたは、がんについてどのような印象を持っていますか。

（○は１つ）

（49.3） **1．** 怖い印象を持っている
（41.0） **2．** どちらかといえば怖い印象を持っている
（ 5.2） **3．** どちらかといえば怖い印象を持っていない
（ 2.0） **4．** 怖い印象を持っていない
（ 2.6） 無回答

3 又は 4 と答えた方、無回答は問 3 へ

問１で「1.怖い印象を持っている」、「2.どちらかといえば怖い印象を持っている」と答えた方への質問

問2．がんを怖いと思う理由は何ですか。

（○はいくつでも）

（n=1,467）

（81.6） **1．** がんで死に至る場合があるから
（62.6） **2．** がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから
（26.0） **3．** がんが治っても、後遺症が残る場合があるから
（57.7） **4．** がんの治療費が高額になる場合があるから
（32.2） **5．** がんによって仕事・学校を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから
（27.6） **6．** 治療を受けるのに適切な医療機関を見つけるのが大変な場合があるから
（29.6） **7．** どの治療法を選択すれば良いかわからず悩むことがあるから
（58.6） **8．** がんの治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから
（ 2.8） **9．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 0.7） 無回答　（M.T.=379.4）

右の段の 問３ に進んでください

ここからは、がんの予防・早期発見についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問3．がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診が行われています。あなたは、ここ 1～2 年くらいの間に、がん検診を受けたことがありますか。

（○は１つ）

（32.8） **1．** １年以内に受診した
（ 9.9） **2．** ２年以内に受診した
（20.8） **3．** ２年より前に受診した
（34.9） **4．** 今までがん検診を受けたことはない
（ 1.7） 無回答

次のページの 問６ に進んでください

次のページの 問５ に進んでください

問３で「1.1 年以内に受診した」、「2.2 年以内に受診した」と答えた方への質問

問4．がん検診をなぜ受診しようと思いましたか。

（○はいくつでも）

（n=694）

（23.5） **1．** 自治体の広報で知ったから
（ 4.0） **2．** テレビやラジオで知ったから
（ 1.3） **3．** 新聞で知ったから
（ 0.4） **4．** Twitter（ツイッター）、LINE（ライン）、Facebook（フェイスブック）、Instagram（インスタグラム）などの SNS で知ったから
（ 0.9） **5．** SNS 以外のネットニュースやインターネット広告で知ったから
（12.2） **6．** 家族にすすめられたから
（ 2.9） **7．** 職場の上司・同僚にすすめられたから
（28.1） **8．** 職場・学校での健康診断ですすめられたから
（ 1.9） **9．** 職場・学校でのがん教育を受けたから
（28.8） **10．** 家族・友人などの身近な人でがんにかかった人がいるから
（16.9） **11．** 他疾患の通院中、医療者にすすめられたから
（18.4） **12．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 0.7） 無回答　（M.T.=140.1）

次のページの 問６ に進んでください

問３で「3.2年より前に受診した」、「4.今までがん検診を受けたことはない」と答えた方への質問

問5．ここ1～2年くらいの間に、または、これまでがん検診を受診していない理由は何ですか。
（○はいくつでも）

（n=905）
（ 8.1）**1．** がん検診そのものを知らないから
（21.2）**2．** 受ける時間がないから
（ 6.2）**3．** 受ける場所が不便だから
（23.2）**4．** 費用がかかり経済的にも負担になるから
（16.6）**5．** 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
（16.6）**6．** 検査内容や苦痛の程度がわからず、不安だから
（23.9）**7．** 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから
（16.2）**8．** がんであるとわかるのが怖いから
（ 6.4）**9．** がん検診を受けても、見落としがあると思っているから
（10.9）**10．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿
（11.2）**11．** がん検診の対象者ではないから
（ 1.7）　無回答　（M.T.=162.1）

ここからは、がんの治療法及び病院に関する情報源についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問6．あなたは、がんと診断された場合、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思いますか。
（○はいくつでも）

1と答えた方は問7へ

（43.8）**1．** がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター
（56.2）**2．** 病院・診療所の医師・看護師やがん相談支援センター以外の相談窓口
（ 6.2）**3．** 保健所・保健センターの窓口
（ 9.0）**4．** 新聞・雑誌・書籍
（ 4.3）**5．** テレビ・ラジオ
（22.8）**6．** 国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」
（26.2）**7．** 「がん情報サービス」以外のインターネット・Twitter（ツイッター）、LINE（ライン）、Facebook（フェイスブック）、Instagram（インスタグラム）などのSNS
（36.7）**8．** 家族・友人・知人
（ 0.6）**9．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿
（ 1.2）**10．** 情報を入手しようと思わない
（ 1.0）　無回答　（M.T.=208.1）

1以外を答えた方、無回答は問8へ
（1に○をつけていない場合は、問8へお進みください。）

右の段の 問8 に進んでください

問７で「1.がん診療連携拠点病院の相談窓口であるがん相談支援センター」と答えた方への質問

問7．「がん相談支援センター」でどのようなことが聞きたいと思いますか。
（○はいくつでも）

（n=713）
（79.5）**1．** 治療費・保険などの経済面について
（31.3）**2．** 治療と仕事・学業の両立について
（82.7）**3．** がんの治療内容に関する一般的な情報について
（38.8）**4．** 退院後の生活など療養上の注意点について
（36.2）**5．** 他の専門的な医療機関の情報について
（22.0）**6．** 家族をどうサポートするかについて
（ 0.4）**7．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿
（ 2.2）　無回答　（M.T.=293.3）

ここからは、がん医療についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問8．インターネットなどで入手できるがんの治療法に関する情報の中には、手術や抗がん剤だけではなくさまざまな新しい治療法に関する情報があります。あなたは、これらの情報の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思いますか。
（○は1つ）

（55.1）**1．** あると思う
（35.0）**2．** ある程度あると思う
（ 5.5）**3．** あまりないと思う
（ 1.4）**4．** ないと思う
（ 3.1）　無回答

全員の方が【資料1】を読んでから下の 問9 以降にお答えください

【資料1】　セカンド・オピニオンについて
治療のための手術など重大な決断をする際に情報も知識もない患者や家族には、治療法の決定ができなかったり、不安を覚えたりする場合があります。こうした場合に、従来どおり担当医より治療法などの説明を受ける他、判断材料として担当医以外の医師の意見を聞く方法を「セカンド・オピニオン」といいます。

問9．あなたは、がんと診断された場合に、セカンド・オピニオンを受けることについて、どのように思いますか。
（○は1つ）

（75.3）**1．** 良いことだと思う
（22.0）**2．** どちらかといえば良いことだと思う
（ 1.0）**3．** どちらかといえば良いことだと思わない
（ 0.4）**4．** 良いことだと思わない
（ 1.2）　無回答

右のページの 問10 に進んでください

問 10．がんの免疫療法とは、がん患者自身の免疫機能を高めることでがん細胞を排除する治療法です。あなたは、がんの免疫療法について、どのように思いますか。

（○はいくつでも）

（ 9.1）**1．** 手術や抗がん剤よりも効果があると思う
（ 7.3）**2．** どの種類のがんにも効果があると思う
（24.8）**3．** 効果は限定的だと思う
（12.0）**4．** 副作用があると思う
（10.3）**5．** 安全だと思う
（14.0）**6．** がんと診断されたら、まずがんの免疫療法を受けたいと思う
（52.5）**7．** 医師から薦められたら、がんの免疫療法を受けたいと思う
（16.9）**8．** がんの免疫療法の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがあると思う
（31.9）**9．** がんの免疫療法に関する情報は、どれが正確な情報か判断が難しいと思う
（29.6）**10．** がんの免疫療法については知らなかった
（ 1.7）**11．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 0.7） 無回答 （M.T.=210.7）

問 11．がん医療における緩和ケアとは、がんやがんの治療に伴う体と心の痛みをやわらげることです。あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思いますか。

（○は１つ）

（49.7）**1．** がんと診断されたときから
（25.5）**2．** がんの治療が始まったときから
（22.0）**3．** がんが治る見込みがなくなったときから
（ 1.8）**4．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 0.9） 無回答

全員の方が【資料 2】を読んでから下の 問 12 以降にお答えください

【資料 2】 医療用麻薬について

モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルなどの「医療用麻薬」は、がんなどの激しい痛みの治療などに用いられる医薬品で、痛みを伝える神経に作用して痛みをやわらげます。医療用麻薬は、がんの進行度に関わらず、痛みの程度に応じて使用することができます。

問12．あなたは医療用麻薬について、どのように思いますか。

（○はいくつでも）

（43.9）**1．** 正しく使用すれば安全だと思う
（67.2）**2．** 正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う
（ 4.4）**3．** 精神的におかしくなると思う
（16.6）**4．** いったん使用し始めたらやめられなくなると思う
（27.7）**5．** だんだん効かなくなると思う
（ 0.9）**6．** がんの治療に悪い影響があると思う
（ 6.3）**7．** 寿命を縮めると思う
（ 8.3）**8．** 眠気や便秘などの副作用が強いと思う
（29.0）**9．** 最後の手段だと思う
（ 0.2）**10．** 使用することは道徳に反することだと思う
（10.4）**11．**「麻薬」という言葉が含まれていて、怖いと思う
（ 1.8）**12．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿
（ 0.5） 無回答 （M.T.=217.4）

ここからは、がん患者と社会とのつながりについておうかがいします

問 13．あなたががんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを話せると思いますか。

（○は１つ）

（67.8）**1．** 話せると思う
（25.4）**2．** どちらかといえば話せると思う
（ 5.1）**3．** どちらかといえば話せると思わない
（ 1.0）**4．** 話せると思わない
（ 0.7） 無回答

次のページの 問 14 に進んでください

問14．あなたは、がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、現在の日本の社会は、働き続けられる環境だと思いますか。

（○は1つ）

（ 8.6）**1．** そう思う
（36.8）**2．** どちらかといえばそう思う
（39.1）**3．** どちらかといえばそう思わない
（14.5）**4．** そう思わない
（ 1.1）　無回答

1 又は 2 と答えた方、無回答は問 16 へ

問 14 で「3.どちらかといえばそう思わない」、「4.そう思わない」と答えた方への質問

問15．働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。

（○は1つ）

（n=870）

（22.3）**1．** 代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから
（15.7）**2．** 職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから
（ 4.4）**3．** 休むと職場での評価が下がるから
（28.4）**4．** がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから
（14.7）**5．** がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから
（ 3.4）**6．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿
（11.0）　無回答

右の段の 問 16 に進んでください

ここからは、がん対策に関する政府への要望についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問 16．あなたは、がん対策について、政府としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。

（○はいくつでも）

（68.2）**1．** 拠点病院の充実などのがん医療に関わる医療機関の整備
（49.5）**2．** がんに関する専門的医療従事者の育成
（34.8）**3．** 緩和ケア
（33.1）**4．** がんに関する情報の提供
（46.0）**5．** がんに関する相談やその支援
（ 3.4）**6．** がん登録
（12.7）**7．** たばこ対策などの生活習慣病対策も含むがんの予防
（43.8）**8．** がん検診によるがんの早期発見
（27.4）**9．** がんに関する研究
（18.6）**10．** 小児がんを含む希少がん対策
（11.2）**11．** こども向けのがん教育
（51.8）**12．** 仕事・学校を続けられるための相談・支援体制の整備
（ 3.1）**13．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿
（ 1.0）　無回答　（M.T.=404.8）

全員の方が【資料 3】を読んでから下の 問 17 以降にお答えください

【資料 3】　患者・市民参画について

患者やその家族、医療者、研究者などすべての国民がそれぞれの立場からの経験を治療の研究開発や政策などに活かしていこうとする取組を「患者・市民参画」といいます。

問 17．あなたは、「患者・市民参画」について知っていましたか。

（○は１つ）

（ 2.0）**1．** 内容も含め知っている
（13.6）**2．** 言葉だけは知っている
（83.9）**3．** 知らない
（ 0.5）　無回答

右のページの 問 18 に進んでください

問 18．国は「患者・市民参画」を推進していますが、がん対策を進めるに当たって、あなたはどのように関わりたいと思いますか。

（○は１つ）

（ 8.6）**1．** 対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたい

（52.4）**2．** 対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたいが、どう関わればよいかよくわからない

（28.5）**3．** 対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると思うが、積極的に関わりたいとは思わない

（ 9.1）**4．** 対策を進めるのは国や専門家であり、積極的に関わるつもりはない

（ 1.4） 無回答

1 又は 4 と答えた方、無回答は F１へ

問 18 で「2.対策を進めるためには国民の協力が広く必要であり、積極的に関わりたいが、どう関わればよいかよくわからない」、「3.対策を進めるためには国民の協力が広く必要であると思うが、積極的に関わりたいとは思わない」と答えた方への質問

問19．そのように考える理由は何ですか。

（○はいくつでも）

（n=1,315）

（68.9）**1．** がんの医療やその対策について知識がないから

（68.3）**2．** 地域でどのようにがんの医療が提供されているかについて知識がないから

（53.9）**3．** 医療保険制度などの公的な仕組みについて知識がないから

（18.4）**4．** がん対策に関わる時間が無いから

（ 5.6）**5．** 興味・関心がある人が協力すればよいと思うから

（ 2.0）**6．** がん対策に興味が無いから

（16.6）**7．** がん対策に関わる機会が提供されていないから

（ 1.7）**8．** その他（具体的に→）＿＿＿＿＿＿＿＿

（ 0.6） 無回答 （M.T.=236.0）

右の段の F１ に進んでください

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

F1．差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。

（○は１つ）

（43.9）**1．** 男性 （56.1）**2．** 女性

F2．あなたのお年は満でおいくつですか。年齢をお書きください。

［　　］ 歳

（ 1.4）18～19 歳（ 6.8）40～44 歳（ 7.9）65～69 歳
（ 3.2）20～24 歳（ 9.3）45～49 歳（11.7）70～74 歳
（ 3.8）25～29 歳（10.1）50～54 歳（ 8.7）75～79 歳
（ 4.6）30～34 歳（ 7.1）55～59 歳（ 9.5）80 歳以上
（ 6.3）35～39 歳（ 9.6）60～64 歳

F3．あなたのお仕事についておうかがいします。あなたは、この中のどれに当たりますか。どれに当てはまるかわからない場合には、「8.」に○をつけ、「その他」の欄にできるだけ具体的にお書きください。

（○は１つ）

（32.2）**1．** 役員を含む、正規の職員・従業員

（18.7）**2．** 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員

（ 6.8）**3．** 自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主・自由業

（ 2.5）**4．** 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者

（15.9）**5．** 主婦・主夫

（ 2.8）**6．** 学生

（18.7）**7．** 無職

（ 2.2）**8．** その他

※できるだけ具体的にお書きください。

（ 0.3） 無回答

次のページの F４ に進んでください

F4．あなたは結婚していらっしゃいますか。

（○は１つ）

（65.6）**1．** 既婚で配偶者あり
（14.1）**2．** 既婚で離別または死別
（20.1）**3．** 未婚
（ 0.2）　　無回答

F5．あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。

（○は１つ）

（72.4）**1．** いる
（27.2）**2．** いない
（ 0.3）　　無回答

F6．現在、どなたと一緒に暮らしていますか。あなた自身からみた続柄で、当てはまるものを全てお答えください。

（○はいくつでも）

（14.3）**1．** 1人暮らし
（59.0）**2．** 配偶者
（17.5）**3．** 親
（ 5.5）**4．** きょうだい
（40.3）**5．** こども・その配偶者を含む
（ 1.8）**6．** 祖父母
（ 2.8）**7．** 孫・その配偶者を含む
（ 0.8）**8．** その他の親族
（ 1.8）**9．** 親族以外の同居人
（ 0.2）　　無回答　　（M.T.=144.0）

今後の調査実施の参考とするため、ここからは今回の調査についておうかがいします

問A．今回の調査の答えやすさはどうでしたか。

（○は１つ）

（62.3）**1．** 答えやすかった
（ 7.9）**2．** 答えにくかった
（29.1）**3．** どちらともいえない
（ 0.7）　　無回答

問B．今回の調査の分量はどうでしたか。

（○は１つ）

（ 4.9）**1．** 少ないと感じた
（79.5）**2．** 適当と感じた
（14.7）**3．** 多いと感じた
（ 0.9）　　無回答

問C．今回の調査への回答に要した時間は、およそどれくらいでしたか。

（○は１つ）

（51.8）**1．** 15分未満
（39.4）**2．** 15～30分程度
（ 8.4）**3．** 30分以上
（ 0.4）　　無回答

問D．今回の調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか。

（○は１つ）

（96.1）**1．** 郵便宛名のご本人様
（ 3.1）**2．** ご本人様のご意見を代理の方が記入
（　 -）**3．** 代理の方（代理の方のご意見を記入）

※代理の方が記入された理由をお教えください。

（ 0.7）　　無回答